

荒砥上ノ坊遺跡Ⅱ

昭和57年度県営圃場整備事業荒砥北部
地区に係る埋蔵文化財発掘調査報告書

歴史時代前半期の調査

《遺物観察表編》

1 9 9 6

群 馬 県 教 育 委 員 会
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

資料	(財)群島縣理成文化財	01-353
	調査事業団保管	592
No. 96- 3849	平成 9 年 1 月 10 日	2-(6)

荒砥上ノ坊遺跡 II

昭和57年度県営圃場整備事業荒砥北部
地区に係る埋蔵文化財発掘調査報告書

歴史時代前半期の調査

《遺物観察表編》

1 9 9 6

群 馬 県 教 育 委 員 会
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

例言・凡例

1. 本書は、昭和57年度県営圃場整備事業荒砥北部地区に係る埋蔵文化財発掘調査報告書『荒砥上ノ坊遺跡II』《遺物観察表編》である。
2. 遺物は、本文編に掲載した挿図中の実測図の順に掲載している。
3. 遺物の種類毎に表の書式は異なっている。
4. 遺物番号は挿図中の遺物番号に一致している。表中に使用した記号や略号は各々以下の通りである。
 - ①法量 《土器・石器》口：口縁部直径 底：底部直径 高：器高
胴：胴部最大径
石器の厚さは、おおむね断面実測位置で計測した。
なお、計測値に（ ）を付したものは復元値である。
 - ②色調 陶磁器を除いて土器の色調は小山正忠・竹原秀雄編『新版標準土色帖』農林水産省農林水産技術会議事務局監修を用いて記載した。
5. 土器の「器形・整形の特徴」の記述は、下記の文献における土器の記述に準拠しておこなった。
坂口一・三浦京子1986「奈良・平安時代の土器の編年―住居の重複と共伴関係による土器形式組列の検討―」群馬県史研究24号
6. 石器の石材については、飯島静男氏（群馬県地質研究会会員）の分類・同定による。

目次

1. 古墳時代の出土遺物(第1分冊補遺)..... 1
2. 歴史時代前半期の出土遺物..... 1

1. 古墳時代の出土遺物

I区40号住居出土遺物観察表《土器》第7図

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1312	土師器 埴形土器	口縁部破片 口 (14.8cm)	南東部 床面直上	①細砂・小礫を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR7/6	内湾する埴形土器口縁部破片。口縁部内外面に面とり。 外面 口縁部縦方向・横方向ハケメ後、縦方向寛磨き。 内面 口縁部横方向寛磨き。

I区71号住居出土遺物観察表《土器》第8図・PL15

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
989	土師器 鉢形土器	口縁～底部ノ残存 口 (11.0cm) 高 12.0cm 最 (11.4cm) 底 (5.0cm)	東壁際 床面上4.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR6/4	小さな底部から球形胴部、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部縦方向寛磨き。体部縦方向寛磨き。 内面 口縁部縦方向寛磨き。体部縦・横方向寛ナデ。

2. 歴史時代前半期の出土遺物

I区1号住居出土遺物観察表《土器》第11図・PL1

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
936	土師器 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (12.8cm) 高 3.8cm	埋没土	①細砂・少量の小礫を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	わずかな丸底から浅い体部に至る。口縁部はやや外反する。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
937	土師器 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (13.0cm)	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	わずかな丸底から浅い体部に至る。口縁部は直立する。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
938	須恵器 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (12.4cm) 底 (6.0cm)	埋没土	①細砂・直径3～5mmの小礫を含む。②還元焰。 ③灰N5/	底径が小さく、口縁部が外反する。 外面 回転ナデ。底部回転糸切り離し未調整。 内面 回転ナデ。

I区1号住居出土遺物観察表《石器》第11図・PL1

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石材 重さ (g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S92	敲石	14.5・5.9 4.5	粗粒安山岩 610	南西寄り 床面上2.5cm	細長い棒状礫の小口の両端に敲打痕が認められる。
S93	磨石	11.8・5.8 2.6	石英閃緑岩 333	南壁寄り 床面上3cm	裏面に磨り面があり、平坦になっている。
S94	敲石	13.8・4.6 3.9	変質安山岩 396	埋没土	細長い棒状礫の小口の一端に敲打痕がある。
S95	磨石	10.6・6.5 3.1	粗粒安山岩 319	埋没土	やや偏平な円礫の小口の一端に剥がれたような敲打痕があり、表面には、磨り面が残っている。

I区2号住居出土遺物観察表《土器》第12図・PL2

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1208	土師器 杯形土器	口縁部ノ欠損 口 12.1cm 高 3.4cm	南西部 床面上7.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/6	平底からわずかに内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1206	土師器 甕形土器	口縁～体部上位ノ破片 口 (19.0cm)	竈壁際 床面上19.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	口縁部が少し直立して上位で外反する。胴部上位に最大径をもつ。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向寛ナデ。
1207	土師器 甕形土器	口縁部破片 口 (20.2cm)	竈壁際 床面上19.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	口縁部が少し直立して上位で外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向寛ナデ。
1209	土師器 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (12.8cm) 高 3.4cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	平底からわずかに内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部指押え。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。
1211	須恵器 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (12.9cm) 高 3.4cm 底 (8.0cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焰。 ③灰5Y6/1	平底の底部からわずかに膨らんで外反する口縁部に至る。 右回転クロ整形。底部回転寛削り。 内外面 回転ナデ調整。
1212	須恵器 碗形土器	口縁～底部ノ破片 口 (13.8cm)	埋没土	①細砂・小礫を含む。 ②還元焰。 ③灰10Y5/1	下位に丸みをもつ体部から外反する体部に至る。 回転クロ整形。底部周縁には手持ち寛削り残る。 内外面 回転ナデ調整。

遺物観察表

(1区2号住居)

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1210	ロクロ土師器 椀形土器	底部 $\frac{1}{2}$ 残存 底(8.6cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。内黒処理 ③にぶい橙7.5YR6/4	平底の底部から少し膨らんで立ちあがる体部下位が残る。 左回転ロクロ整形。底部回転寛削り。切り離し技法不明。 外面 回転ナデ調整。内面 横方向細かな磨き。

1区6号住居出土遺物観察表《土器》第14図・PL2

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1215	土師器 甕形土器	口縁～体部上位破片 口(23.0cm)		竈前 床面上2.5cm	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③橙2.5YR6/8	丸く外反する口縁部破片。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛削り。
1214	土師器 甕形土器	口縁 $\frac{1}{2}$ ～体部下位残存 口(23.2cm)		南部 床面上19cm	①細砂・小礫を多量に含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/3	中位に膨らみをもつ胴部から短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛削り。
1213	土師器 甕形土器	口縁～底部残存 口 22.4cm 高 32.7cm 底 6.0cm		南部 床面上29cm	①微細砂と少量の小礫を含む ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	中位よりやや上に膨らみをもつ胴部から短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部斜・縦方向寛削り。部分的にナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛削り。
1216	土師器 杯形土器	口縁～底部上位 $\frac{1}{2}$ 残存 口 12.8cm		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	わずかな丸底から浅い体部に至る。口縁部は直立する。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。周縁ナデ。一部に細かい磨き状の痕跡がある。内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1217	土師器 杯形土器	口縁 $\frac{1}{2}$ ～底部残存 口(13.0cm)高 3.0cm		埋没土	①細砂・微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄褐10YR5/4	内湾する底部・体部から直立する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1218	土師器 盤形土器	口縁～底部破片 口(20.4cm)		埋没土	①細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	平底気味の底部から外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1219	須恵器 椀形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 破片 口(16.6cm) 底(11.0cm)		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③灰白7.5Y7/1	下位にわずかな丸みをもつ体部から、やや内湾気味の口縁部に至る。断面三角形の高台を付す。 口縁部外面に巾2.5mmの沈線が巡る。内外面とも回転ナデ調整。付高台
1220	須恵器 蓋形土器	天井～口縁部 $\frac{1}{2}$ 残存 口(15.0cm)高 3.0cm 摘 3.9cm		埋没土	①微細砂・細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③灰白7.5Y7/1	口縁部が垂直気味に折れる。 左回転ロクロ整形。天井部回転寛削り。 内外面 回転ナデ調整。

1区7号住居出土遺物観察表《土器》第15図・PL3

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
941	土師器 甕形土器	口縁～体部中位 $\frac{1}{2}$ 残存 口(21.0cm)		竈右袖脇 床面上18cm	①微細砂と少量の小礫を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR7/4	胴部に膨らみがなくゆるやかに外反する口縁部。最大径は口縁部にある 外面 口縁部横ナデ。輪積み痕跡。体部縦方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛削り。
939	土師器 甕形土器	口縁～体部下位残存 口 24.2cm		竈右袖外部 床面上27cm	①細砂・小礫を多量に含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR7/6	胴部に膨らみがなくゆるやかに外反する口縁部。最大径は口縁部にある 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛削り。
940	土師器 甕形土器	口縁～体部中位 $\frac{1}{2}$ 残存 口(23.4cm)		竈右袖外部 床面上27cm	①微細砂・小礫を多量に含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR7/6	胴部に膨らみがなくゆるやかに外反する口縁部。最大径は口縁部にある 外面 口縁部横ナデ。輪積み痕跡。体部縦方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛削り。
942	土師器 杯形土器	口縁～体部 $\frac{1}{2}$ 残存 口(13.0cm)		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	内湾する体部から直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部丁寧なナデ。

1区7号住居出土遺物観察表《石器》第15図・PL3

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石重 さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S96	砥石	5.4・5.2 2.3	砥沢石 75	南西隅 床面直上	一端を欠損した砥石の破片。

1区13号住居出土遺物観察表《土器》第17図・PL4

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
945	土師器 杯形土器	完形 口 14.4cm 高 3.8cm		中央やや南寄 床面直上	①細砂・微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	平底からわずかに内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
944	土師器 杯形土器	完形 口 12.4cm 高 3.3cm		竈内 灰面上3cm	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい赤褐2.5YR5/4	平底気味の底部から内湾気味の体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
943	土師器 甕形土器	口縁・体部一部欠損 口(21.8cm)高 28.9cm 底 5.4cm		貯蔵穴南壁寄 底面下29cm	①細砂・微細砂を多量に含む ②酸化焰。 ③にぶい赤褐5YR5/3	胴部中位にやや膨らみがあり、外反する口縁部に至る。最大径は口縁部 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向寛削り。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部横方向寛削り。
946	須恵器 杯形土器	口縁部破片 口(14.0cm)		貯蔵穴 埋没土	①細砂・小礫を多く含む。 ②還元焰。 ③灰7.5Y5/1	下位にやや丸みをもって外反する体部。 内外面 回転ナデ調整。

2. 歴史時代前半期の出土遺物

I区13号住居出土遺物観察表《石器》第17図・PL4

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石 重さ (g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S98	磨石	13.6・5.4 3.0	変質安山岩 324	埋没土	やや扁平な三角形の断面をもつ棒状礫。表面に細長い磨り面を残す。

I区20号住居出土遺物観察表《土器》第18図・PL4

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1242	土師器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 12.9cm 高 3.3cm	南部 床面上7cm	①微細砂を少量含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR6/4	平底からわずかに内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部下位指ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧なナデ。
1243	土師器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 破片 口 (12.0cm) 高 3.0cm	埋没土	①細砂・微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	平底気味の底部から内湾気味の体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧なナデ調整。
1245	須恵器 杯形土器	底部 $\frac{1}{2}$ 破片 底 (8.0cm)	埋没土	①微細砂を少量含むが緻密な胎土である。②還元焰。 ③灰白7.5Y8/1	平底からやや丸みをもって外反する体部下位が残っている。 右回転ロクロ整形。底部回転糸切り後、周縁のみ回転篋削り。
1244	須恵器 蓋形土器	天井～口縁部 $\frac{1}{2}$ 残存 摘み剥落 底 14.9cm	埋没土	①細砂・微細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③灰7.5Y5/1	水平な天井部からゆるやかに湾曲する体部。口縁部は垂直に折れる。 回転ロクロ整形。天井部回転糸切り離し後、摘み貼付。 外面 天井部回転篋削り。口縁部横ナデ。 内面 天井部回転によるナデ調整。

I区20号住居出土遺物観察表《石器》第18図・PL4

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石 重さ (g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S124	磨石	11.9・5.4 4.5	変質安山岩 450	埋没土	断面隅丸方形の棒状礫の半欠。一側面に磨り面が残る。

I区20号住居出土遺物観察表《金属器》第18図・PL4

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	材 質	出土位置	形状・調整加工の特徴
M7	刀子	7.5残・1.2	鉄	北部 床面上7cm	両側の刀子。刃部の大半は欠損。茎も先端は折れているが、柄の木質部と環状の金具が残っている。

I区23号住居出土遺物観察表《土器》第19図・PL5

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
947	土師器 甕形土器	口縁部破片 口 (21.0cm)	竈前 床面直上	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	ゆるやかに外反する口縁部破片。 内外面 横ナデ。
949	土師器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 10.4cm 高 3.4cm	埋没土	①細砂・微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	丸底から、口縁部が短く内傾する。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
948	須恵器 蓋形土器	天井部～口縁部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (19.2cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焰。 ③灰白7.5Y8/1	水平な天井部からゆるやかに湾曲する口縁部に至る。口縁部寄りにわずかな返りが付く。外面 天井部カキ目整形後ナデ。口縁部回転ナデ。 内面 回転ナデ。

I区25号住居出土遺物観察表《土器》第20図

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1246	須恵器 杯形土器	体部 $\frac{1}{2}$ ～底部残存 口 (12.2cm) 高 3.9cm	竈 埋没土	①微細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③灰10Y6/1	やや小さい平底から、直線的に外反する。 外面 体部回転ナデ調整。底部左回転ロクロ切り離し。 内面 回転ナデ調整。
1247	須恵器 蓋形土器	$\frac{1}{2}$ 破片 口 (18.4cm) 高 3.0cm 摘 6.4cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焰。 ③灰白2.5Y8/1	天井部から緩やかに屈曲して口縁部に至る。 右回転ロクロ整形。切り離し技法不明。 外面 回転篋削り。環状の摘みがつく。内面 回転ナデ調整。

I区25号住居出土遺物観察表《石器》第20図・PL5

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石 重さ (g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S125	凹石	7.3・9.9 3.0	粗粒安山岩 340	埋没土	断面が扁平な円礫の半欠品。表裏面に比較的大きな敲打痕が残る。

I区29号住居出土遺物観察表《土器》第23図・PL6

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
464	土師器 甕形土器	口縁～体部中位残存 口 22.0cm	竈左袖	①微細砂・白色細砂を多く含む。②酸化焰。 ③にぶい橙5YR6/4	中位よりやや上に膨らみをもつ胴部から、短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部斜方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋削り。

遺物観察表

(I区29号住居)

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
465	土師器 甕形土器	口縁～体部上位残存	口 20.6cm	竈右袖	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/4	膨らみをもたない胴部上位から、短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋削り後、中位縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
463	土師器 甕形土器	ほぼ完形	口 22.0cm 高 33.4cm 底 4.6cm	竈焚口部天井 灰面直上	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	中位よりやや上に膨らみをもつ胴部から、短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部斜方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
466	土師器 甕形土器	口縁～体部下位残存	口 16.6cm	竈焚口部天井 灰面直上	①細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	球形の胴部から、ゆるやかに短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。頸部ナデ。体部上位横方向篋削り後、中位～下位 斜方向篋削り。下位には部分的に縦方向ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
467	土師器 甕形土器	口縁～体部下位残存	口 18.4cm	竈焚口部天井 灰面直上	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	中位よりやや下に膨らみをもつ胴部から短く外反する口縁部に至る。小 形の甕形土器。外面 口縁部横ナデ。体部縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
468	土師器 杯形土器	口縁～底部残存	口 (13.0cm)	埋没土	①細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR7/6	底部が湾曲して、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
470	土師器 杯形土器	口縁部破片	口 (15.0cm)	埋没土	①微細砂をわずかに含むが緻 密な胎土。②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/4	口縁部と底部を画する稜線をもつ。 外面 口縁部横ナデ。底部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
469	土師器 杯形土器	口縁～底部破片	口 (12.4cm)	埋没土	①微細砂を少量含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	底部は湾曲して直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
471	土師器 鉢形土器	口縁部破片	口 (16.0cm)	埋没土	①砂粒・微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明褐7.5YR5/6	尖り気味の丸底から、口縁部が短く内傾する。大形の杯。 外面 口縁部横ナデ。体部上位指ナデ。下位横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部丁寧ナデ。
473	須恵器 蓋形土器	天井部破片 摘 (3.5cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焰。 ③黄灰2.5Y6/1	ほぼ水平の天井部。環状の摘みを付す。 内外面 回転ナデ調整。
475	須恵器 蓋形土器	口縁部破片	口 (17.0cm)	埋没土	①細砂・小礫を含む。 ②還元焰。 ③灰白5Y8/1	水平に垂れる口縁部。 内外面 回転ナデ調整。
474	須恵器 高台付 椀形土器	底部破片	口 (11.0cm)	埋没土	①細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③灰白7.5Y8/1	体部下位に丸みを持ち、やや開いた断面三角形の低い高台を付す。 外面 体部下位回転篋削り。底部回転糸切り離し後、周縁回転篋削り。 付高台。内面 回転ナデ調整。
472	須恵器 壺形土器	体部下位～底部残存	底 8.5cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焰。 ③灰黄2.5Y7/2	平底から丸みをもった体部下位に至る。 内外面 摩耗・剝離が著しく整形痕不明。
476	須恵器 壺形土器	体部中位～底部残存	最 16.2cm	埋没土	①黒色鉱物粒・砂粒を含む。 ②還元焰。 ③灰オリーブ7.5Y6/2	丸底から丸みをもった体部下位に至る。 外面 右回転クロコナデ調整。自然袖付着。 内面 回転ナデ調整。

I区30号住居出土遺物観察表《土器》第25図・PL7

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
955	土師器 杯形土器	完形	口 13.8cm 高 4.0cm	竈内 床面上4.5cm	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	平底気味の底部から、湾曲気味の体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
952	土師器 甕形土器	口縁～体部上位破片	口 (20.0cm)	西壁土坑寄り 床面上14.0cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	やや膨らみのある胴部上位から丸く外反してやや内湾する口縁部に至る 外面 口縁部横ナデ。頸部ナデ。体部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。頸部ナデ。体部横方向篋ナデ。
956	土師器 杯形土器	ほぼ完形	口 12.3cm 高 3.2cm	西壁土坑寄り 床面上19.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	わずかな丸底から浅い体部に至り、口縁部は直立する。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
954	須恵器 壺形土器	口縁部破片	口 (12.4cm)	埋没土	①細砂を含む。 ②還元焰。 ③黄灰2.5Y6/1	大きく外反する口縁部破片。端部は上方につまみ上げられ端部外面には 段ができています。 内外面 回転ナデ。
953	土師器 台付 甕形土器	口縁～体部上位残存	口 (14.0cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐2.5YR5/6	ゆるやかに外反する台付甕形土器。体部は球形。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋ナデ。

I区30号住居出土遺物観察表《石器》第25図・PL7

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石 材 重さ (g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S100	敲石	6.4 × 4.4 2.7	粗粒安山岩 121	埋没土	断面楕円形の棒状礫の半欠品。小口の端部に敲打痕が残る。

2. 歴史時代前半期の出土遺物

I区34号住居出土遺物観察表《土器》第26図・PL 7

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
960	土師器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 12.4cm 高 3.6cm	竈前 床面直上	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③褐7.5YR4/4	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
961	土師器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (12.0cm) 高 4.5cm	南壁際 床面直上	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR6/4	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り後、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
962	土師器 盤形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 15.8cm 高 3.5cm	南壁際 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	体部の弱い稜線から、外湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
963	須恵器 蓋形土器	口縁～天井部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (18.6cm)	竈前 床面直上	①微細白色鉾物粒・砂粒を含む。②還元焰。 ③灰N5/	丸みをもつ天井部から、少し括れて下方に開く口縁部に至る。内面には返りを付す。 外面 回転ナデ調整。内面 口縁部横ナデ。天井部手持ちナデ。
958	土師器 台付 甕形土器	体部下位～体部残存 底 12.8cm	竈右袖脇 床面上3cm	①細砂・砂粒を多量に含む。 ②酸化焰。 ③にぶい褐7.5YR6/3	低く下方に開く台付甕形土器の台部。 外面 体部縦方向篋削り。台部上半縦方向篋削り。下半横ナデ。 内面 体部横ナデ。台部上半横方向篋削り。下半横ナデ。
957	土師器 甕形土器	口縁～体部中部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 20.3cm	竈前 床面上3.5cm	①微細砂・砂粒を多量に含む ②酸化焰。 ③褐10YR5/6	膨らみをもたないやや上方に開く胴部からわずかに外反する口縁に至る 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋削り。
959	土師器 台付 甕形土器	台部 $\frac{1}{2}$ 残存 底 (11.0cm)	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③灰褐7.5YR4/2	ハの字状に下方に開く台付甕形土器の台部。 外面 体部縦方向篋削り。台部上半縦方向篋削り。下半横ナデ。 内面 体部横ナデ。台部上半横・斜方向指ナデ。下半横ナデ。

I区34号住居出土遺物観察表《石器》第26図・PL 7

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石重 重さ (g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S101	砥石	6.8・4.2 2.9	砥沢石 123	北壁際 床面直上	小形の砥石の半欠品。
S102	敲石・磨石	10.5・7.5 2.4	粗粒安山岩 302	北壁寄り 床面直上	扁平な円礫の表裏面に磨り面が残る。また一側面に敲打痕がみられる。

I区44号住居出土遺物観察表《土器》第28図・PL 8

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
765	土師器 台付 甕形土器	口縁～体部下位 $\frac{1}{2}$ 残存 口 12.4cm	南東隅 床面上3cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR6/4	小形の球形の胴部から、やや高く直立気味に外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。輪積み痕残る。体部斜方向篋削り。下半には縦方向指ナデ。内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋削り。上位は指ナデ。
764	土師器 甕形土器	口縁～体部上位 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (24.0cm)	中央西壁寄り 床面上4.5cm	①細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/8	球形の胴部から、ゆるやかに外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋削り。
768	土師器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (12.8cm)	中央西壁寄り 床面上6cm	①砂粒・微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	湾曲する底部から直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
769	土師器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (11.4cm) 高 3.2cm	西壁際 床面上8.5cm	①細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/8	湾曲する底部から直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向篋削り後、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部丁寧なナデ。
777	須恵器 蓋形土器	口縁部破片 口 (18.0cm)	中央竈寄り 床面上11cm	①黒色鉾物粒を多く含む。 ②還元焰。 ③灰7.5Y6/1	低平な天井部から、水平な口縁部に至る。返りが付くが下方へ垂れる。 外面 回転ナデ調整。自然袖付着。 内面 回転ナデ調整。
766	土師器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (13.4cm) 高 4.0cm	中央 床面上12.5cm	①微細砂・砂粒を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	湾曲する底部から直立する口縁部に至る。 外面 底部篋削り。体部指ナデ。口縁部横ナデ。 内面 底部～体部ナデ調整。口縁部横ナデ。
767	土師器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (13.0cm)	中央 床面上12.5cm	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	湾曲する底部から短く直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
770	須恵器 碗形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (13.0cm)	中央 床面上15.5cm	①微細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③灰褐5YR5/2	湾曲する底部から、高く、やや外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部回転ナデ調整。
763	土師器 甕形土器	体部 $\frac{1}{2}$ 欠損 口 20.8cm 高 25.8cm 底 4.7cm	竈内	①砂粒・小礫を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄緑10YR7/4	胴部中位に膨らみをもち短く外反する口縁部に至る。小形の甕形土器。 外面 口縁部横ナデ。輪積み痕残る。体部縦方向篋削り。下位のみ縦方向篋削り。内面 口縁部横ナデ。体部横方向指ナデ。
762	土師器 甕形土器	ほぼ完形 口 21.2cm 高 31.9cm 底 3.7cm	竈内	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/5	中位よりやや上に膨らみをもつ胴部から、短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部斜・縦方向篋削り後、頸部横方向指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋削り。
772	土師器 盤形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (18.3cm) 高 4.7cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明褐7.5YR5/6	体部の弱い稜線から外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
773	土師器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (12.8cm) 高 4.0cm	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR7/6	湾曲する底部から、やや内湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。

遺物観察表

(1区44号住居)

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
774	土師器 盤形土器	口縁～底部/残存	口 (16.0cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	体部の弱い稜線から外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
775	土師器 盤形土器	口縁～底部/残存	口 (16.8cm)	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	平底気味の底部から、外湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
771	須恵器 杯形土器	口縁～底部/残存	口 (16.2cm)	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③にぶい赤褐5YR5/3	丸底気味の底部から外反する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部回転ナデ。底部手持ち篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部回転ナデ。
779	須恵器 蓋形土器	摘～口縁部/残存	口 14.7cm 高 2.8cm 摘 4.6cm	埋没土	①微細砂をごく少量含む。 ②還元焰。 ③灰10Y6/1	やや丸みをもつ天井部から少し括れて下方に開く口縁部に至る。ボタン状の摘みを付す。外面 摘み部～口縁部回転ナデ。中位は回転篋削り内面 天井部～口縁部回転ナデ。
776	須恵器 蓋形土器	摘～口縁部/残存	口 16.4cm 高 2.8cm 摘 4.6cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焰。③(外) 灰7.5Y5/1 (内) 灰褐7.5Y4/2	やや丸い天井部から垂直に垂れる口縁部に至る。宝珠形の摘みを付す。外面 口縁部横ナデ。天井部左回転篋削り。摘み部ナデ。 内面 口縁部横ナデ。天井部回転ナデ。
778	須恵器 椀形土器	口縁部破片	口 (11.4cm)	埋没土	①微細砂・白色鉱物粒を含む ②還元焰。 ③暗オリーブ灰5GY3/1	下位にわずかな丸みをもつ体部から外反気味の口縁部に至る。 内外面 回転ナデ調整。

1区47号住居出土遺物観察表《土器》第29図・PL10

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
965	土師器 杯形土器	完形	口 10.0cm 高 3.2cm	北西隅 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/8	丸底気味の底部から、外反する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
968	土師器 盤形土器	口縁部/欠損	口 16.6cm 高 3.7cm	竈右袖 床面上3.5cm	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③にぶい褐7.5YR5/4	体部のごく弱い稜線から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
967	土師器 杯形土器	口縁部一部欠損	口 12.8cm 高 3.3cm	南壁寄り 床面上6.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR6/4	湾曲する底部から、短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
966	土師器 杯形土器	口縁部一部欠損	口 14.3cm 高 3.7cm	南西部 床面上7cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
969	土師器 杯形土器	口縁～底部/残存	口 (14.8cm) 高 3.7cm	竈左袖脇 床面上9cm	①細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
970	土師器 杯形土器	口縁部/欠損	口 18.0cm 高 6.0cm	東壁際 床面上12cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR7/6	湾曲する底部から、短く直立する口縁部に至る。大形の杯形土器。 外面 口縁部横ナデ。体部～底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧なナデ。
964	土師器 甕形土器	口縁～体部上位/残存	口 (11.0cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	球形の胴部から、短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋削り。

1区47号住居出土遺物観察表《石器》第29図・PL10

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石 重さ (g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S104	磨石	11.9 × 6.5 3.3	粗粒安山岩 391	埋没土	やや扁平な円礫の表裏面に磨り面が残る。

1区49号住居出土遺物観察表《土器》第30図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
568	土師器 甕形土器	口縁～体部上位/残存	口 (20.0cm)	東壁際 床面上5cm	①細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	膨らみをもたない胴部から外反する口縁部に至る。最大径は口縁部にある 外面 口縁部横ナデ。体部上位縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋削り。
569	土師器 盤形土器	口縁～底部/残存	口 (16.6cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/4	体部の弱い稜線から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部斜方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ調整。
570	土師器 盤形土器	口縁～底部/残存	口 (15.6cm)	埋没土	①細砂・砂粒を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	やや深い体部の弱い稜線から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ調整。
571	土師器 盤形土器	口縁～体部破片	口 (17.0cm)	埋没土	①細砂・微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	平底気味の底部から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部丁寧なナデ。
572	土師器 杯形土器	口縁～底部/残存	口 (12.0cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい赤褐2.5YR5/4	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ調整。

2. 歴史時代前半期の出土遺物

I 区52号住居出土遺物観察表《土器》第31図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
950	須恵器 蓋形土器	口縁部破片 口 (20.0cm)		埋没土	①微細砂・黒色鉱物微細粒を含む。②還元焰。 ③灰N5/	水平に近い天井部から、外方へ開く口縁部に至る。返りはない。 内外面 回転ナデ調整。
951	須恵器 壺形土器	体部上位破片		埋没土	①細砂を含む。 ②還元焰。 ③灰5Y6/1	肩の張る壺形土器の肩部破片。 外面 肩部端に2条の沈線が巡りその間に櫛歯状工具による刺突。 内面 回転ナデ。

I 区55号住居出土遺物観察表《土器》第32図・PL11

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1259	須恵器 杯形土器	口縁部一部欠損 口 13.2cm 高 3.8cm 底 8.8cm		竈前 床面上直上	①微細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③灰5Y5/1	体部下位にやや膨らみをもって外反する。 右回転クロク整形。底部回転糸切り離し後、周縁回転ナデ削り。 内外面 回転によるナデ調整。
1258	土師器 杯形土器	底部一部欠損 口 12.5cm 高 4.1cm		南部 床面上2.5cm	①微細砂を少量含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	平底気味の底部から、湾曲気味の体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1261	須恵器 蓋形土器	口縁部一部欠損 口 19.1cm 高 4.6cm 摘 5.2cm 底 18.6cm		南部 床面上3.5cm	①細砂と小礫を少量含む。 ②還元焰。 ③灰白5Y7/1	直線的な体部から、内傾する口縁部に至る。 右回転クロク整形。天井部回転糸切り離し後、摘み貼付。 外面 天井部回転削り。口縁部横ナデ。 内面 天井部回転によるナデ。口縁部横ナデ。
1260	須恵器 杯形土器	口縁部/底部残存 口 (13.2cm) 高 3.1cm 底 6.7cm		南西壁際 床面下5.5cm	①細砂・微細砂と少量の小礫を含む。②還元焰。 ③灰N5/	平底の底部から、わずかな膨らみをもって外反する体部に至る。 外面 口縁部～体部回転ナデ調整。底部右回転削り。切り離し技法不明。 内面 口縁部～底部回転ナデ調整。
1257	土師器 甕形土器	口縁～体部中位残存 口 21.0cm		中央部南東寄 床面上13cm	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③黄褐7.5YR6/6	口縁部が一旦直立して上位で外反する。最大径を胴部上位にもつ。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向削り。中位縦方向削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向削り。
1262	須恵器 杯形土器	底部残存 底 7.6cm		埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焰。 ③黄灰2.5Y7/1	体部の立ち上がり部分に削りを施す。 右回転クロク整形。底部～体部下位回転削り。 内外面 回転ナデ調整。

I 区55号住居出土遺物観察表《石器》第32図・PL11

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石重 重さ (g)	材質	出土位置	形状・調整加工の特徴
S126	砥石	13.9・5.4 2.5	420	珪質頁岩	埋没土	棒状礫の一面を利用して、砥石として使用したものと思われる。
S127	敲石	14.1・6.7 5.4	650	粗粒安山岩	埋没土	断面が隅丸三角形を呈する棒状礫。小口面に敲打痕を残す。

I 区57号住居出土遺物観察表《土器》第37図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1263	土師器 杯形土器	口縁～底部/残存 口 (13.6cm)		北東隅 床面上7.5cm	①微細砂を少量含む。 ②酸化焰。 ③褐7.5YR4/6	平底の底部から、やや膨らみをもって外反する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。
1265	須恵器 杯形土器	底部破片 底 (9.0cm)		埋没土	①微細砂を多量に含む。 ②還元焰。 ③灰10Y5/1	平底の底部から、わずかに膨らみをもって外反する体部に至る。 右回転クロク整形。底部・体部下位回転削り。 内外面 回転ナデ調整。
1264	須恵器 高台付 碗形土器	底部残存 底 (7.1cm)		埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②還元焰。 ③灰黄2.5Y7/2	底径が大きく、体部下位にわずかに膨らみをもつ。 右回転クロク整形。底部回転削り後、付高台。 内外面 回転ナデ調整。

I 区58号住居出土遺物観察表《土器》第35・36図・PL12

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
808	土師器 杯形土器	完形 口 14.0cm 高 3.8cm		竈前 床面上直上	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	湾曲する体部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
806	土師器 甕形土器	体部下位～底部/残存 底 6.5cm 孔 2.5cm		P 2 床面上直上	①微細砂・雲母粒を多く含む ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR6/4	平底の中央に一孔を穿つ。 外面 体部斜方向削り。底部ナデ。 内面 斜・横方向削り。
807	土師器 杯形土器	ほぼ完形 口 13.2cm 高 3.3cm		南東隅 床面上4cm	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	湾曲する体部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部削り。 内面 口縁部横ナデ。体部丁寧ナデ。
812	土師器 杯形土器	口縁～底部/残存 口 (17.8cm) 高 4.5cm		竈内 灰面上4.5cm	①細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR6/4	湾曲する体部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部削り。 内面 口縁部横ナデ。下位指ナデ。底部丁寧ナデ。
802	土師器 甕形土器	口縁～体部中位/残存 口 (24.7cm)		竈内 灰面上4.5cm	①白色鉱物粒・砂粒を多量に含む。②酸化焰。 ③黄褐10YR5/6	膨らみをもたない胴部から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向削り。

遺物観察表

(1区58号住居)

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
803	土師器 甕形土器	口縁～体部上位ノ残存 口 (24.4cm)	竈内 灰面上4.5cm	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	外反する口縁部破片。 外面 口縁部横ナデ。輪積み痕が顕著に残る。体部上位縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。輪積み痕が一部に残る。
804	土師器 甕形土器	体部下半～底部ノ残存 底 6.6cm	竈内 灰面上4.5cm	①細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	長胴の甕形土器の胴部下半。 外面 体部下半縦・斜方向篋削り。 内面 体部下半横方向篋ナデ。
805	土師器 甕形土器	体部下位～底部ノ残存 底 (6.4cm)	竈内 灰面上4.5cm	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR5/4	胴部中位に膨らみがあると推定される甕形土器胴部下半。 外面 体部斜・縦方向篋削り。底部篋削り。 内面 体部横方向篋ナデ。
810	土師器 甕形土器	頸部～体部中位破片 最 (20.9cm)	竈内 灰面上4.5cm	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③赤褐10R5/4	上位に膨らみのある胴部から、ゆるやかに外反する口縁部に至る。 外面 頸部横ナデ。体部上半横方向篋削り。下半縦方向篋削り。 内面 頸部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
809	土師器 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (12.2cm) 高 3.1cm	南壁 床面上6.5cm	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	わずかな丸底から浅い体部に至る。口縁部はやや外反する。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
868	須恵器 高盤形土器	杯・脚台接合部破片	中央部 床面上7cm	①細砂を多く含む。黒色鉱物 粒が目立つ。②還元焰。 ③灰7.5Y5/1	湾曲して開く、高盤の脚台部破片。 内外面 回転ナデ調整。
825	須恵器 蓋形土器	摘～口縁部ノ残存 口 (14.6cm) 高 2.9cm 摘 5.0cm	南東隅 床面上8.5cm	①微細砂・小礫を含む。 ②還元焰。 ③7.5Y6/1	水平な天井部から緩やかに湾曲する口縁部に至り口縁部が垂直に折れる 外面 口縁部横ナデ。天井部回転篋削り。 内面 口縁部横ナデ。天井部回転ナデ調整。
813	土師器 盤形土器	口縁～底部ノ残存 口 (14.0cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい褐7.5YR5/4	平底気味の底部から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り後、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
814	土師器 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 13.7cm 高 4.1cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	湾曲する体部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
815	土師器 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 13.0cm 高 3.5cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR6/4	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
816	土師器 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (13.8cm) 高 3.8cm	埋没土	①細砂・微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR6/4	平底気味の底部から、湾曲気味の体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。指押え。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
818	土師器 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (13.4cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
819	土師器 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (14.0cm)	埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
820	土師器 杯形土器	口縁～底部破片 口 (15.8cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい褐7.5YR6/3	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
821	土師器 盤形土器	口縁～底部ノ破片 口 (13.2cm) 高 3.2cm	埋没土	①微細砂・長石細粒を含む。 ②酸化焰。やや軟質。 ③にぶい橙5YR6/4	平底気味の底部から、外湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部摩耗が著しく整形不明。 内面 口縁部横ナデ。体部ナデ。
822	土師器 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (15.6cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
823	土師器 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (17.4cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	平底気味の底部から、湾曲気味の体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り後、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
824	土師器 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (14.2cm) 高 3.6cm	埋没土	①細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	体部と底部を画す稜線をもつ。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り後、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
827	須恵器 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (13.0cm) 高 3.5cm 底 9.0cm	埋没土	①微細砂・黒色鉱物細粒を含む。 ②還元焰。 ③灰5Y5/1	やや厚い底部から、外反する体部に至る。体部下位に回転篋削り。 外面 口縁部横ナデ。体部回転ナデ。底部切り離し後、右回転篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部回転ナデ。
828	須恵器 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (13.6cm) 高 3.5cm	埋没土	①細砂を含む。 ②還元焰。 ③灰N6/	やや厚い底部から、外反する体部に至る。体部下位に回転篋削り。 外面 口縁部横ナデ。体部回転ナデ。底部右回転篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部回転ナデ。底部回転ナデ。
829	須恵器 杯形土器	口縁～底部ノ破片 口 (14.6cm) 高 3.8cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焰。軟質。 ③褐灰10YR4/1	底部からやや湾曲する体部に至る。体部下位に回転篋削り。 外面 口縁部横ナデ。体部回転ナデ調整。底部右回転篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部回転ナデ調整。
830	須恵器 蓋形土器	摘～口縁部破片 口 (15.2cm) 高 2.4cm 摘 4.4cm	埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②還元焰。 ③灰10Y5/1	水平な天井部から、ゆるやかに湾曲して口縁部に至る。つまみ出した 短い鋭い返りが付く。 内外面 回転ナデ。
826	須恵器 高台付 椀形土器	口縁～底部ノ残存 口 (17.2cm) 高 6.2cm 底 11.5cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焰。 ③灰7.5Y5/1	下位にわずかに丸みをもつ体部から、外反気味の口縁部に至る。断面三 角形の高台を付す。外面 口縁部横ナデ。体部回転ナデ。底部回転ナ デ切り後、回転篋削り。付高台。 内面 口縁部横ナデ。体部回転ナデ。底部回転ナデ。

2. 歴史時代前半期の出土遺物

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
817	土師器 盤形土器	口縁～底部破片	3.5cm	埋没土	①細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR6/3	平底気味の底部から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。摩耗が著しく、単位・方向不明。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
811	土師器 甕形土器	口縁～体部上位1/2破片	17.4cm	埋没土	①微細砂・雲母細片を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR7/4	球形の胴部をもつと推定される甕形土器の外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋ナデ。

I区58号住居出土遺物観察表《石器》第35・36図・PL12

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石重 (材 重さ (g))	出土位置	形状・調整加工の特徴
S77	基石	3.1・2.7 0.6	凝灰岩質砂岩 9	埋没土	薄く偏平な小形円形の石。両面ともよく磨かれている。基石と考えられる。
S83	磨石	12.7・6.1 2.7	粗粒安山岩 337	埋没土	断面が偏平な楕円形を呈する棒状礫。片面に磨り面が残る。
S84	敲石	14.4・7.1 5.0	粗粒安山岩 810	埋没土	断面が楕円形を呈する棒状礫。小口の両端に小さな敲打痕が残る。

I区61号住居出土遺物観察表《土器》第39図・PL13

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1274	須恵器 杯形土器	口縁部一部欠損	3.8cm	南壁際 床面直上	①微細砂を含む。 ②還元焰。 ③灰5Y6/1	底径が小さく、上げ底気味の底部から下位に膨らみをもって外反する。 右回転クロク整形。回転糸切り離し。 内外面 回転ナデ調整。
1266	土師器 甕形土器	口縁～体部下位残存	20.3cm	南西部 床面直上	①微細砂・細砂を多量に含む ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	胴部上位に最大径をもち、口縁部が短く外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部上位斜方向篋削り。下半縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
1270	土師器 甕形土器	口縁部破片	12.0cm	南壁際 床面上2.5cm	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR7/6	球形の胴部から、短く外反する口縁部に至る。小形の甕形土器。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
1268	土師器 甕形土器	口縁～体部中位破片	21.6cm	中央部南東寄 床面上4cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐2.5YR5/8	胴部上位に最大径をもち、口縁部が短く外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
1269	土師器 甕形土器	口縁～体部破片	24.0cm	中央部南東寄 床面上4cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	短くゆるやかに外反する口縁部破片。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
1272	須恵器 杯形土器	口縁1/2～底部残存	3.5cm	南東部 床面上4.5cm	①微細砂・細砂を含む。 ②還元焰。 ③灰5Y6/1	やや小さい底部から下位に膨らみをもって、外反する体部に至る。 右回転クロク整形。底部回転糸切り後、周縁のみ回転篋削り。 内外面 回転によるナデ調整。
1271	須恵器 高台付 碗形土器	口縁の一部・高台部欠損	12.4cm	東部 床面上5cm	①微細砂・小礫を含む。 ②還元焰。 ③灰白7.5Y7/1	平底から、下位にやや膨らみをもって外反する体部に至る。 右回転クロク整形。底部回転糸切り離し。高台は割がれている。 内外面 回転ナデ調整。
1273	須恵器 杯形土器	底部1/2残存	7.6cm	南東 床面上5.5cm	①微細砂・細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③灰N5/	比較的広い底部破片。 右回転クロク整形。底部回転糸切り離し後、周縁回転篋削り。 内外面 回転ナデ調整。
1267	土師器 甕形土器	口縁～体部上位破片	21.6cm	東部 床面上9.5cm	①細砂・微細砂を多量に含む ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	膨らみのない胴部から、短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋ナデ。

I区61号住居出土遺物観察表《石器》第39図・PL13

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石重 (材 重さ (g))	出土位置	形状・調整加工の特徴
S128	敲石	12.8・6.2 3.5	粗粒安山岩 380	埋没土	断面楕円形を呈する棒状礫。片側縁に敲打痕を残す。

I区63号住居出土遺物観察表《土器》第40図・PL15

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
971	土師器 杯形土器	完形	3.6cm	南壁際 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/8	湾曲する底部から、短く内湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
972	土師器 杯形土器	口縁～底部1/2残存	4.5cm	南壁 床面上11.5cm	①微細砂と少量の小礫を含む ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	丸底で内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
973	土師器 杯形土器	口縁～底部1/2残存	13.0cm	埋没土	①細砂粒を多量に含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	湾曲する底部から、短く直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り後、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。

遺物観察表

Ⅰ区64号住居出土遺物観察表《土器》第41図・PL15

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1282	土師器 杯形土器	完形 口 10.0cm 高 3.5cm	南東 床面直上	①微細砂を少量含むが緻密な胎土。②酸化焰。 ③橙5YR6/8	湾曲する底部から、短く内傾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1281	土師器 杯形土器	口縁～底部一部欠損 口 10.8cm 高 3.5cm	南部 床面上3.5cm	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	湾曲する底部から、短く内傾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1283	須恵器 杯形土器	底部 $\frac{1}{2}$ 残存 底 (7.5cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焰。 ③灰7.5Y5/1	器内の厚い底部から、直線的に外反する体部に至る。 外面 体部回転ナデ調整。底部指ナデ。 内面 回転ナデ調整。

Ⅰ区69号住居出土遺物観察表《土器》第43図・PL14

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
982	土師器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 11.0cm 高 3.0cm	南壁際 床面直上	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	湾曲する底部から、直立する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
983	土師器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (13.0cm) 高 4.4cm	南東隅 床面直上	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	わずかな丸底から、浅い体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指押え。指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
987	須恵器 壺形土器	体部中位～高台部 $\frac{1}{2}$ 残 最 (21.0cm) 底 (12.0cm)	南部 床面直上	①微細黒色鉱物粒を含む。 ②還元焰。 ③灰5Y6/1	直線的に立ち上がる体部下位。断面長方形の高台が付く。 外面 体部下半回転ナデ。下部横方向回転篋削り。高台接合部横ナデ。 底部切り離し後、回転篋削り。内面 体部回転ナデ調整。
988	須恵器 壺形土器	口縁～体部下位 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (10.0cm) 最 (20.0cm)	南部 床面直上	①黒色鉱物細粒を多く含む。 ②還元焰。 ③灰5Y6/1	丸みのある体部上位から、短く直立する口縁部に至る。 内外面 回転ナデ調整。
976	土師器 台付 壺形土器	台部のみ残存 底 10.0cm	南壁際 床面直上	①砂粒を多量に含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	低く下方に開く台付壺形土器台部。 外面 台部上半縦方向篋削り。下半横ナデ。 内面 台部上半横方向篋削り。下半横ナデ。体部指ナデ。
981	土師器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (13.0cm)	南壁際 床面上4cm	①細砂・微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	平底気味の底部から、湾曲気味の体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り後、周縁指押え。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
984	土師器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 12.8cm	南東隅 床面上4.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄褐10YR5/3	丸底の底部から、口縁部が短く内傾する。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
974	土師器 壺形土器	口縁～体部下位 口 (23.2cm)	南東隅 床面上4.5cm	①細砂・小礫を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄2.5Y6/4	胴部中位にやや膨らみを持ち、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。輪積み痕残る。体部縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋削り。
975	土師器 壺形土器	口縁～体部上位 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (20.2cm)	中央やや西寄 床面上4.5cm	①細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR6/4	ほとんど膨らみをもたない胴部上位から、短く外湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋削り。
978	土師器 杯形土器	ほぼ完形 口 13.0cm 高 3.6cm	南壁際 床面上7.5cm	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	内湾する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
979	土師器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 14.8cm 高 4.2cm	南壁際 床面上11cm	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙2.5YR6/6	平底気味の底部から、内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
980	土師器 杯形土器	口縁 $\frac{1}{2}$ ～底部残存 口 (13.0cm) 高 3.0cm	南壁際 床面上12cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	平底からわずかに内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
986	土師器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (13.4cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	尖り気味に湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ調整。
1153	土師器 杯形土器	底部破片	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明褐7.5YR5/6	丸底気味の杯形土器の底部破片。 外面 底部篋削り。ほぼ中央に墨痕あり。 内面 丁寧なナデ。

Ⅰ区69号住居出土遺物観察表《石器》第43図・PL14

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	重量 (g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S106	砥石	2.7・2.6 2.4	砥沢石 30	埋没土	2.5cm立方のサイコロ状に使いこまれた砥石。

Ⅰ区75号住居出土遺物観察表《土器》第44図

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1284	土師器 盤形土器	口縁～底部破片 口 (18.2cm)	東壁際 床面直上	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	平底気味の底部から、外湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。

2. 歴史時代前半期の出土遺物

I区8号土坑出土遺物観察表《土器》第45図

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1154	土師器 杯形土器	口縁部/残存 口(13.0cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR6/4	浅い体部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部~底部丁寧なナデ。
1155	土師器 杯形土器	底部破片	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR6/4	湾曲する底部破片。 外面 底部篋削り。 内面 底部丁寧なナデ後、刻書。

I区9号土坑出土遺物観察表《土器》第45図

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1285	土師器 杯形土器	口縁部破片 口(15.6cm)	埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	湾曲する底部から、短く直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部丁寧なナデ。

I区60号土坑出土遺物観察表《土器》第45図・PL15

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
990	土師器 杯形土器	口縁~底部/残存 口(17.0cm)高 6.0cm	中央部凹み 底面直上	①微細砂をごく少量含む。 緻密。②酸化焰。 ③橙5YR6/8	深い丸底から、内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部~底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部~底部丁寧なナデ。
991	土師器 杯形土器	口縁~底部/残存 口(12.0cm)高 3.5cm	中央部凹み 底面直上	①細砂・微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
992	土師器 盤形土器	口縁~底部/残存 口(15.8cm)高 4.0cm	中央部凹み 底面直上	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	平底気味の底部から、外湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
614	土師器 盤形土器	口縁~底部/残存 口(17.5cm)高 4.8cm	埋没土	①細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明褐7.5YR5/6	体部の弱い稜線から、外湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
993	土師器 杯形土器	口縁~底部/残存 口(15.0cm)高 4.5cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明褐7.5YR5/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。

I区35号土坑出土遺物観察表《土器》第47図・PL18

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1163	土師器 杯形土器	口縁~底部/残存 口(12.0cm)高 3.1cm	埋没土	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	湾曲する底部から、短く直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1169	土師器 杯形土器	口縁部一部欠損 口 11.2cm 高 3.3cm	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	湾曲する底部から、短く直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1171	土師器 杯形土器	口縁~底部/残存 口(11.2cm)高 3.1cm	埋没土	①微細砂を少量含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR7/8	湾曲する底部から、短くやや内傾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1179	土師器 杯形土器	口縁~底部/残存 口(12.0cm)高 3.4cm	埋没土	①微細砂・細砂と小礫を含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR7/6	湾曲する底部から、短くやや内傾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1167	土師器 杯形土器	口縁~底部/残存 口 12.0cm 高 3.3cm	埋没土	①微細砂・細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③明褐7.5YR5/8	湾曲する底部から、短く直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1181	土師器 杯形土器	口縁~底部/残存 口(12.8cm)高 3.3cm	埋没土	①細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR7/6	湾曲する底部から、短くやや内傾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1183	土師器 杯形土器	口縁~底部/残存 口(13.5cm)高 3.8cm	埋没土	①微細砂と少量の小礫を含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	湾曲する底部から、短くやや内傾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1161	土師器 杯形土器	口縁~底部/破片 口 11.8cm 高 3.6cm	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	やや尖り気味の丸底から、短く直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1176	土師器 杯形土器	口縁部/欠損 口(12.7cm)高 4.1cm	埋没土	①微細砂を少量含むが緻密な胎土。②酸化焰。 ③橙5YR6/6	丸底から、内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上半ナデ。下半~底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部~底部丁寧なナデ。
1177	土師器 杯形土器	口縁~体部破片 口(12.6cm)	埋没土	①微細砂・小礫を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/8	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上半ナデ。下半斜方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部~底部丁寧なナデ。
1164	土師器 杯形土器	口縁部/欠損 口 12.0cm 高 3.7cm	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。

遺物観察表

(1区35号住居)

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1178	土師器 杯形土器	口縁～底部/残存 口 13.1cm 高 3.4cm	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1166	土師器 杯形土器	口縁～底部/残存 口 (11.4cm) 高 3.7cm	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③明褐7.5YR5/6	丸底から、内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁に無調整部残る。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1160	土師器 杯形土器	口縁～底部/残存 口 11.5cm 高 3.6cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明褐7.5YR5/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1180	土師器 杯形土器	口縁～底部/残存 口 11.6cm 高 3.4cm	埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい赤褐5YR5/4	湾曲する底部から、短く直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1168	土師器 杯形土器	口縁～底部/残存 口 (12.0cm) 高 3.8cm	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/4	丸底から、内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部～底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧なナデ。
1172	土師器 杯形土器	口縁～底部/残存 口 11.0cm 高 3.6cm	埋没土	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	湾曲する底部から、短く直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1165	土師器 杯形土器	口縁部一部欠損 口 11.3cm 高 4.4cm	埋没土	①細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	湾曲する底部から、短く直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1182	土師器 杯形土器	口縁～底部/残存 口 (5.9cm) 高 3.0cm	埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	内湾する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位指ナデ。下位～底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ調整。
1162	土師器 杯形土器	口縁～底部/残存 口 12.8cm 高 4.0cm	埋没土	①細砂と少量の小礫を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	湾曲する底部から、短く内傾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1184	土師器 杯形土器	口縁～体部下位/残存 口 (16.0cm)	埋没土	①微細砂を少量含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	深い丸底から、短く内傾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上半ナデ。下半横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部丁寧なナデ。
1159	土師器 杯形土器	口縁～底部/残存 口 (16.2cm) 高 4.9cm	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	湾曲する底部から、短く直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁に無調整部残る。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1170	土師器 杯形土器	口縁～体部/残存 口 (16.4cm)	埋没土	①微細砂を含むが緻密な胎土。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	丸底・内湾する体部から、やや内傾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向篋削り。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧なナデ。
1185	土師器 盤形土器	口縁～底部/残存 口 (18.0cm) 高 4.5cm	埋没土	①細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	丸底の体部から、外湾気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1186	土師器 盤形土器	口縁～底部/残存 口 20.2cm 高 3.5cm	埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	体部の弱い稜線から、外湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1187	土師器 盤形土器	口縁～体部/残存 口 (18.2cm)	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	体部の弱い稜線から、外湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部斜方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1174	土師器 杯形土器	口縁～底部破片 口 (12.4cm)	埋没土	①細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	湾曲する底部から、短く直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。墨書があるが判読できない。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1173	土師器 杯形土器	口縁部破片 口 (10.0cm)	埋没土	①微細砂・小礫を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/4	小さく内湾する口縁部破片。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。口縁部下に「女」の刻書。
1193	須恵器 高台付 碗形土器	体部中位～底部/残存 底 (12.2cm)	埋没土	①細砂・小礫を含む。 ②還元焰。 ③(外) 灰5Y6/1 (内) にぶい黄橙10YR6/4	下位にわずかな丸みをもつ体部から、外反気味の口縁部に至る。断面台形の高台を付す。右回転クロコ整形。底部回転篋削り。切り離し技法不明。付高台。外面 体部回転篋削り。 内面 回転ナデ調整。
1190	須恵器 杯形土器	口縁～底部/残存 口 (11.4cm) 高 3.7cm	埋没土	①細砂・微細砂を含む。 ②還元焰。 ③にぶい褐7.5YR5/3	丸底気味の底部から、外反する体部に至る。 右回転クロコ整形。底部回転篋削り。 内外面 ナデ調整。
1191	須恵器 杯形土器	口縁～底部/残存 口 (10.6cm) 高 3.8cm	埋没土	①微細砂を少量含む。 ②還元焰。 ③灰10Y6/1	丸底気味の底部から、外反する体部に至る。 回転クロコ整形。底部切り離し後、手持ち篋削り。 内外面 回転ナデ調整。
1192	須恵器 杯形土器	口縁～底部/残存 口 (8.4cm) 高 3.0cm	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③灰10Y5/1	丸底気味の底部から、外反する体部に至る。 右回転クロコ整形。底部切り離し後、回転篋削り。周縁ナデ。 内外面 回転ナデ調整。
1189	土師器 甕形土器	口縁～体部上位/残存 口 (16.3cm)	埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄褐10YR4/3	膨らみをもたない胴部から、やや上方に開く口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋削り。

2. 歴史時代前半期の出土遺物

I 区36号土坑出土遺物観察表《土器》第48図

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1286	須恵器 高台付 碗形土器	体部中位～底部に残存 底 (10.0cm)	埋没土	①細砂・小礫を多く含む。 ②還元焰。 ③灰7.5YR6/1	下位にわずかな丸みをもつ体部から、外反気味の口縁部に至る。断面三角形の高台を付す。 内外面 ロクロ調整。底部回転糸切り離し。付高台。

I 区36号土坑出土遺物観察表《金属器》第48図・PL18

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	材質	出土位置	形状・調整加工の特徴
M28	鏝	4.8・2.4 1.0	鉄	埋没土	小形の鏝。先端の鋭利さはない。

I 区37号土坑出土遺物観察表《土器》第49図

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
606	土師器 杯形土器	口縁～底部に残存 口 (13.0cm)	埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	内湾する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部横方向削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
607	土師器 盤形土器	口縁～底部に破片 口 (18.0cm)	埋没土	①細砂・微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	体部の弱い稜線から、外湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部削り後、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
608	須恵器 蓋形土器	口縁部破片 口 (15.6cm)	埋没土	①挟雑物のほとんどない緻密な胎土。②還元焰。 ③灰白5Y7/2	浅い体部から、外湾気味の口縁部に至り、口縁部寄りに返りが付く。 内外面 回転ナデ調整。天井部外面のみ手持ち削り。
605	須恵器 甕形土器	底部残存 底 (15.2cm)	埋没土	①微細砂・白色鉱物粒・黒色鉱物粒を多く含む。 ②還元焰。③灰10Y6/1	平底から外反に立ち上がる体部下位。底部外面に焼台の須恵器片付着。 外面 体部ナデ調整。一部に粘土帯残る。下位には自然粘付着。底部不定方向削ナデ。内面 体部下位放射状の指ナデ。

I 区38号土坑出土遺物観察表《土器》第50図

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
791	土師器 杯形土器	口縁～体部に破片 口 (14.8cm)	埋没土	①微細砂・雲母細片を多く含む。②酸化焰。 ③橙5YR6/8	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向削り。 内面 口縁部横ナデ。体部ナデ。
793	須恵器 盤形土器	口縁～底部に破片 口 (19.1cm) 高 3.6cm	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③灰5Y6/1	やや湾曲する浅い体部から、外反する口縁部に至る。断面三角形の高台を付す。内外面とも回転ナデ調整。 底部、付高台。
795	土師器 甕形土器	口縁部に破片 口 (16.4cm)	埋没土	①砂粒・石英粒と少量の雲母細片を含む。②酸化焰。 ③褐7.5YR4/3	肩の張る体部から、短く外反し端部が肥厚する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位部分的に縦方向のハケメが看取できる。 内面 口縁部上位横ナデ。下位横方向ハケメ。体部上位横方向ハケメ。

I 区45号土坑出土遺物観察表《土器》第51図・PL18

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1201	土師器 杯形土器	口縁部一部欠損 口 12.6cm 高 3.3cm	埋没土	①微細砂を少量含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR6/4	内湾する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1202	須恵器 高台付 碗形土器	口縁～底部に残存 口 (19.4cm) 高 7.2cm 底 (12.4cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焰。 ③灰10Y6/1	小さな底部から直線的に外反し、細い断面三角形の高台を付す。 右回転ロクロ整形。底部回転糸切り離し。付高台。 内外面とも回転ナデ調整。

I 区45号土坑出土遺物観察表《金属器》第51図・PL18

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	材質	出土位置	形状・調整加工の特徴
M12	不明	4.2・4.5 0.3	鉄	埋没土	一部に矩形の外形を残す。板状の鉄製品。全体形状は不明である。

I 区52号土坑出土遺物観察表《土器》第52図・PL20

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1430	土師器 杯形土器	口縁～底部一部欠損 口 (12.9cm)	埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙2.5YR6/6	平底の底部から、やや膨らみをもって外反する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧なナデ。
1432	土師器 杯形土器	口縁～底部に残存 口 (15.0cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/8	平底の底部から、やや膨らみをもって外反する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部丁寧なナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部粘土土痕あり。
1431	土師器 甕形土器	口縁～体部中位破片 口 (16.0cm)	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	球形に近い胴部から、上方に外反する口縁部に至る。器肉が厚い。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向削り。中位縦方向削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向削ナデ。

遺物観察表

I区17号土坑出土遺物観察表《土器》第53図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
844	土師器 杯形土器	口縁～体部1/3破片 口(12.6cm)高	3.0cm	埋没土	①微細砂・雲母細片・長石粒を含む。②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	湾曲する底部から、短く直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部ナデ。
845	須恵器 杯形土器	底部1/3破片 底(12.4cm)		埋没土	①細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③灰白10YR7/1	平底の底部破片。 右回転ロクロ整形。底部切り離し後、全面回転寛削り。 内面 回転ナデ調整。
790	土師器 杯形土器	口縁～体部1/3破片 口(17.0cm)		埋没土	①砂粒・雲母細片を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR6/4	内湾する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部横・斜方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部ナデ。焼成後の線刻寛削り。
846	須恵器 盤形土器	口縁～底部小破片 口(27.2cm)高	2.6cm	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②還元焰。軟質。 ③灰白5Y8/2	大きな平底の底部から、短く外反する口縁部に至る。 内外面 回転ナデ調整。 底部外面回転寛削り？

I区32号土坑出土遺物観察表《土器》第53図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
604	土師器 甕形土器	口縁～体部1/10破片 口(26.9cm)		埋没土	①微細砂・雲母細片直径5～8mmの白色鉱物粒を含む。 ②酸化焰。やや軟質。 ③橙7.5YR7/6	膨らみのないと推定される胴部から、短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛ナデ。

I区41号土坑出土遺物観察表《土器》第55図・PL19

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1194	土師器 杯形土器	口縁～底部1/3残存 口(12.0cm)高	3.8cm	中央やや東寄 底面上12cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/8	内湾する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1195	土師器 杯形土器	口縁～底部1/3残存 口(14.6cm)高	3.7cm	中央やや北寄 底面上13cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR6/6	湾曲する底部から、短くやや内傾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1196	土師器 甕形土器	口縁部破片 口(22.0cm)		中央やや北寄 底面上13cm	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/8	球形の胴部から、緩やかに外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向寛ナデ。
1429	土師器 甕形土器	口縁～体部上位1/3残存 口(23.8cm)		中央やや北寄 底面上13cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③灰褐7.5YR5/2	膨らみをもたない胴部から、上方に短く開く口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位縦方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横・斜方向寛ナデ。
1197	土師器 甕形土器	体部下半1/3残存 胴(27.0cm)		中央やや北寄 底面上13cm	①微細砂・細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③赤褐5YR4/6	下方にやや膨らみをもつ胴部の下位。 外面 体部下半縦方向寛削り。 内面 体部下半横方向寛ナデ。
1198	土師器 盤形土器	口縁～底部1/3残存 口(15.4cm)高	4.3cm	北東壁寄り 底面上15.5cm	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	体部と口縁部を画する稜線をもつ。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1199	須恵器 甕形土器	口縁部破片		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③暗灰N3/	外反する口縁部破片。 内外面 ナデ調整。外面には浅い沈線に区画された波状文が段状に施工されている。
1200	須恵器 甕形土器	体部下半破片		埋没土	①細砂・微細砂を含む。 ②還元焰。 ③灰白5Y7/1	湾曲する体部下半の破片。 外面 格子目状タタキ後ナデ。 内面 同心円状タタキ。

I区41号土坑出土遺物観察表《石器》第55図・PL19

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S122	磨石 敲石	14.3・9.5 2.6	粗粒安山岩 400	埋没土	隅丸方形を呈すと考えられる薄い板状の石器。表面には斜方向の磨り面が残り、右側面には敲打によるとみられる抉れが4カ所認められる。

I区44号土坑出土遺物観察表《土器》第56図・PL20

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
611	土師器 杯形土器	口縁～体部1/3破片 口(18.8cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明褐7.5YR5/6	内湾する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部寛削り後、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部丁寧なナデ。
612	土師器 杯形土器	口縁～底部1/3残存 口(13.4cm)		埋没土	①微細砂を含むが緻密な胎土。②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/4	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 底部寛削り。周縁部ナデ。口縁部横ナデ。 内面 底部丁寧なナデ調整。口縁部横ナデ。
609	須恵器 杯形土器	口縁～底部1/3残存 口(13.6cm)高 底(7.4cm)	4.7cm	埋没土	①微細砂・細粒を多く含む。 ②還元焰。 ③灰7.5Y6/	下位にやや膨らみをもって外反する体部。 外面 口縁部横ナデ。体部回転ナデ。底部回転寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部回転ナデ。

2. 歴史時代前半期の出土遺物

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
613	須恵器 蓋形土器	口縁部破片 口 (14.4cm)		埋没土	①微細砂を含むが緻密な胎土。 ②酸化焰。 ③浅黄橙10YR8/3	水平の天井部から、浅い体部に至る。口縁部は丸く、返りはない。 外面 天井部の一部の手持ち箇所を除き回転ナデ調整。 内面 回転ナデ調整。
610	須恵器 甕形土器	口縁部破片 口 (16.0cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焰。 ③黄灰2.5Y5/1	端部が段をもって肥厚する口縁部破片。 内外面 口縁部ナデ調整。

1区47号土坑出土遺物観察表《土器》第57図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
619	土師器 盤形土器	口縁～底部破片 口 (13.0cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	平底気味の底部から、外湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部箇所。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
620	土師器 杯形土器	口縁～底部破片 口 (13.8cm)		埋没土	①細砂・微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③明褐7.5YR5/6	内湾する体部から、外湾気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部横方向箇所。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
618	須恵器 杯形土器	口縁～底部残存 口 (12.8cm) 高 3.7cm 底 (5.0cm)		埋没土	①微細砂・黒色鉱物細粒を含む。 ②還元焰。 ③黄灰2.5Y6/1	平底の底部から、わずかに内湾する体部に至る。 外面 口縁部～体部回転ナデ。底部切り離し後、回転箇所。 内面 回転ナデ調整。

1区48号土坑出土遺物観察表《土器》第58図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
621	土師器 杯形土器	口縁～底部破片 口 (13.8cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい褐7.5YR5/3	内湾する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部箇所。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
622	土師器 杯形土器	口縁～底部破片 口 (12.4cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR6/4	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部横方向箇所。周縁のみ指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ調整。
623	須恵器 蓋形土器	口縁部破片 口 (18.0cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焰。 ③灰白5Y8/1	直線的な天井部から、やや外方に開く口縁部に至る。 内外面 回転ナデ。

2区6号住居出土遺物観察表《土器》第60図・PL21

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
998	土師器 杯形土器	口縁～底部残存 口 (14.4cm) 高 4.2cm		南壁際 床面上6.5cm	①微細砂を少量含む。 ②酸化焰。 ③明褐7.5YR5/6	平底から、わずかに内湾する体部に至る。口縁部外面に面とり。 外面 口縁部横ナデ。底部箇所。底部中央に「廿」(二十)の墨書。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。底部中央に「廿」(二十)の墨書。
994	土師器 甕形土器	口縁～体部上位残存 口 21.2cm		東壁際 床面上25.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	球形の胴部から、短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向箇所。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向箇所。
995	土師器 甕形土器	口縁～体部上位残存 口 (22.0cm)		東壁際 床面上25.5cm	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	胴部上位に最大径をもち、口縁部が短く外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向箇所。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向箇所。
996	土師器 甕形土器	口縁～体部上位残存 口 (20.6cm)		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③明褐7.5YR5/6	球形の胴部から、短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横・斜方向箇所。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向箇所。
997	土師器 甕形土器	口縁～体部上位残存 口 (20.0cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	胴部上位に最大径をもち、口縁部が短く外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向箇所。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向箇所。
999	土製品 土錘	完形 長さ 6.3cm 幅 2.5cm 厚さ 2.5cm 重さ 37g		南西隅P内 底面上1.5cm	①微細砂を含む。 ②酸化焰 ③にぶい黄橙10YR7/3	中央部が膨らむ筒形。小口は、直線的に切れている。体部は指頭による整形。孔は直線的にあいている。

2区6号住居出土遺物観察表《石器》第60図・PL21

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石材 重さ (g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S107	台石・敲石	21.3・10.1 6.1	粗粒安山岩 1720	埋没土	大形の礫で、片側面には磨面があり、その周囲の表裏面には炭化物が付着して黒くなっている。また、小口の片側面には敲打痕が残っている。
S108	敲石	12.7・6.8 5.0	変質安山岩 610	埋没土	断面楕円形の礫で、小口片側面に敲打痕が残る。

2区17号住居出土遺物観察表《土器》第62図・PL22

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1009	土師器 杯形土器	口縁～底部残存 口 13.4cm 高 3.5cm		南部 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	平底気味の底部から、湾曲気味の体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部箇所、周縁指ナデ、一部指押え。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。

遺物観察表

(2区17号住居)

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1007	土師器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存	口 13.8cm 高 4.5cm	北東部 床面上1.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	わずかな丸底から、浅い体部に至り、口縁部は外反する。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1005	土師器 杯形土器	ほぼ完形	口 12.0cm 高 3.4cm	南東壁寄り 床面上2cm	①微細砂をごく少量含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	平底気味の底部から、湾曲気味の体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。底部脇に「寺」の墨書。
1008	土師器 杯形土器	口縁・底部一部欠損	口 13.2cm 高 3.3cm	中央やや南寄 床面上3cm	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	平底からわずかに内湾する。口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1006	土師器 杯形土器	ほぼ完形	口 13.6cm 高 3.5cm	中央やや北東 床面上4cm	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	平底気味の底部から湾曲気味の体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1010	須恵器 杯形土器	ほぼ完形	口 12.8cm 高 3.7cm 底 8.7cm	東部 床面上5cm	①微細砂・黒色鉱物粒を多く含む。②還元焰。 ③灰7.5Y5/1	平底から直線的に外反する。 外面 口縁部～体部回転ナデ。体部下位～底部手持ち篋削り後、部分的にナデ。内面 回転ナデ調整。
1004	土師器 杯形土器	ほぼ完形	口 12.4cm 高 3.4cm	中央やや南寄 床面上6cm	①微細砂を少量含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙2.5YR6/6	わずかな丸底から浅い体部に至り、口縁部は直立する。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1001	土師器 甕形土器	体部一部欠損	口 20.6cm 高 28.0cm 底 4.9cm	南東壁寄り 床面直上	①微細砂・細砂を多量に含む ②酸化焰。 ③橙2.5YR6/6	最大径は胴部上位にあり丸く短胴化している。口縁部はゆるやかに外反 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋削り、中位～下位斜方向篋削り 底部篋削り。内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
1000	土師器 甕形土器	口縁～底部一部欠損	口 21.0cm 高 29.9cm 底 6.0cm	西部 床面上2.5cm	①細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③灰褐7.5YR5/2	胴上位に膨らみがある。最大径は口縁部にある。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向篋削り。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。底部指ナデ。
1002	土師器 甕形土器	口縁～体部中位残存	口 24.0cm 最 30.0cm	中央やや南寄 床面上3.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	球形胴部から、一旦上方に立ち上がってから外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部上位横方向篋削り、中位斜方向 篋削り。内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋ナデ。
1003	土師器 甕形土器	体部下位 $\frac{1}{2}$ 残存	底 5.6cm	中央やや南寄 床面上3.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐2.5YR5/6	胴部下位に膨らみのある甕形土器の体部下半。 外面 体部下半斜方向篋削り。底部篋削り。 内面 体部下半横方向篋ナデ。
1011	須恵器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存	口 (14.0cm) 高 4.6cm 底 (9.0cm)	埋没土	①黒色鉱物粒を多く含む。 ②還元焰。 ③灰 N6/	平底から体部下位にわずかな膨らみをもって外反する。 内外面 ナデ調整。底部外面整形は、摩耗著しく不明。

2区22号住居出土遺物観察表《土器》第63図・PL23

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1012	土師器 杯形土器	ほぼ完形	口 12.8cm 高 3.3cm	東壁際 床面上8.5cm	①細砂・微細砂を多量に含む ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR6/4	わずかな丸底から浅い体部に至る。口縁部はやや外反する。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1013	土師器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存	口 (13.2cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR6/4	平底気味の底部から、湾曲気味の体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部中央部篋削り後、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ調整。

2区22号住居出土遺物観察表《石器》第63図・PL23

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石重 材重 (g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S109	砥石	16.3・3.9 2.0	砥沢石 287	西壁際 床面上5.5cm	細長い砥石。小口部分を除き、すべての側面が使われている。

2区23号住居出土遺物観察表《土器》第64・65図・PL24

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1021	土師器 杯形土器	口縁～底部破片	口 17.4cm	南壁 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR6/4	丸底で体部が内湾し、口縁部が短く内湾する。 外面 口縁部横ナデ。体部上半横方向指ナデ、下半～底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧なナデ。
1020	土師器 杯形土器	完形	口 12.3cm 高 3.4cm	北部 床面上2cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1022	土師器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存	口 12.4cm 高 3.7cm	埋没土	①砂粒・微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙2.5YR6/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1023	土師器 杯形土器	口縁部 $\frac{1}{2}$ 欠損	口 11.7cm 高 3.7cm	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1024	土師器 盤形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 破片	口 (17.4cm)	埋没土	①細砂・直径3～5mmの小礫を含む。②酸化焰。 ③明褐7.5YR5/8	体部の弱い稜線から、外湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。

2. 歴史時代前半期の出土遺物

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1025	須恵器 杯形土器	ほぼ完形 口 11.2cm 高 3.7cm 底 6.2cm		竈左前方 床面上5cm	①微細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③灰5Y5/1	丸底気味の底部から、外反する体部に至る。口縁部はやや内湾する。右回転クロコ整形。底部寛切り後、回転篋削り。 内外面 回転ナデ調整。
1026	須恵器 杯形土器	底部のみ残存 底 9.8cm		竈前 床面上6cm	①直径1~5mmの砂粒を多く含む。②還元焰。 ③灰7.5Y4/1	体部下位に篋削りを施す。 外面 右回転篋削り。 内面 回転ナデ。
1014	土師器 甕形土器	体部一部欠損 口 23.5cm 高 34.0cm 底 5.0cm		竈左袖	①細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	胴部上位に膨らみをもち、口縁部は外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部斜・縦方向篋削り。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。底部横方向篋ナデ。
1018	土師器 甕形土器	口縁~体部下位/残存 口 (17.0cm)		竈左袖脇 床面直上	①細砂・小礫を多量に含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR7/6	体部に膨らみのない、小形の甕形土器。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
1019	土師器 甕形土器	口縁部/破片 口 (17.4cm)		竈左袖脇 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	ゆるやかに外反する口縁部。胴部は球形になるものと考えられる。 外面 口縁部横ナデ。輪積み痕残る。体部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。輪積み痕残る。体部斜方向篋ナデ。
1017	土師器 甕形土器	口縁~体部下位残存 口 17.8cm		竈右袖	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/8	球形胴部の小形甕形土器。口縁部は外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部斜方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
1015	土師器 甕形土器	底部・体部の一部欠損 口 22.4cm 高 35.4cm 最 20.8cm 底 5.0cm		竈前 床面直上	①微細砂・砂粒を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/8	胴部上位に膨らみをもち、口縁部は外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部斜・縦方向篋削り。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。底部篋ナデ。
1016	土師器 甕形土器	口縁・体部一部欠損 口 23.2cm 高 35.7cm 底 5.0cm		竈右前方 床面上2cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③明褐7.5YR5/6	胴部上位の膨らみが少ない長胴の甕形土器。口縁部は外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部斜・縦方向篋削り。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。底部横方向篋削り。

2区24号住居出土遺物観察表《土器》第66図・PL23

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
633	土師器 杯形土器	口縁部/欠損 口 13.4cm		北東部 床面上3cm	①砂粒・微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	湾曲する底部から直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り後、指押え。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
635	土師器 杯形土器	口縁~底部/残存 口 (13.6cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	内湾する体部から外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
634	土師器 甕形土器	口縁部破片 口 (24.0cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙2.5YR6/6	外反する口縁部破片。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位ナデ。

2区26号住居出土遺物観察表《土器》第67図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1027	土師器 杯形土器	口縁~底部/残存 口 (13.0cm) 高 3.2cm		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明褐7.5YR5/8	浅い体部から直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1028	須恵器 杯形土器	口縁~底部破片 口 (14.0cm) 高 3.4cm		埋没土	①黒色鉱物微細粒を含む。 ②還元焰。 ③灰白色N7/	直線的な体部の杯形土器破片。 右回転クロコ整形。底部切り離し技法不明。 内外面 回転ナデ調整

2区30号住居出土遺物観察表《土器》第69図・PL25

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1031	須恵器 杯形土器	完形 口 12.9cm 高 3.7cm		中央部 床面直上	①黒色鉱物粒を多く含む。 ②還元焰。 ③灰10Y6/1	直線的な体部で、体部下位に篋削りを施す。 外面 口縁部~体部回転ナデ調整。底部回転篋削り。体部下位回転篋削り。 内面 回転ナデ調整。
1029	土師器 杯形土器	口縁~底部/残存 口 13.0cm 高 3.3cm		南部 床面上3cm	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	わずかな丸底から、浅い体部に至り、口縁部は内湾する。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り、周縁指押え。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1030	土師器 杯形土器	口縁・底部一部欠損 口 14.0cm 高 3.7cm		南東部 床面上3.5cm	①微細砂を少量含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	わずかな丸底から、浅い体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1032	土師器 杯形土器	ほぼ完形 口 13.8cm 高 4.0cm		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	わずかな丸底から、内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部~底部丁寧なナデ。
1033	土師器 杯形土器	口縁~底部/残存 口 (14.4cm)		埋没土	①細砂・少量の小礫を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	丸底から、やや外反するように立ち上がる口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部ナデ調整。
1034	土師器 杯形土器	口縁~底部/残存 口 (13.2cm) 高 3.7cm		埋没土	①微細砂・小礫をごく少量含む。密着。②酸化焰。 ③にぶい褐7.5YR5/3	わずかな丸底から、やや外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向指ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部~底部丁寧なナデ。

遺物観察表

2区31号住居出土遺物観察表《土器》第70図・PL25

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1035	土師器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 13.0cm		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	湾曲する底部から、短く直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位ナデ。下半～底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。
1036	土師器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (12.0cm) 高 3.3cm		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙2.5YR6/8	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1037	土師器 盤形土器	口縁～底部破片 口 (16.6cm) 高 3.1cm		埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	平底気味の底部から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1038	土師器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 破片 口 (14.6cm) 高 3.5cm		埋没土	①細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/4	平底の底部から外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部下半横方向篋削り。底部摩擦が著しく整形痕不明。 内面 口縁部横ナデ。体部丁寧ナデ後、放射状篋磨き。底部篋磨き。

2区31号住居出土遺物観察表《金属器》第70図・PL25

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	材質	出土位置	形状・調整加工の特徴
M14	不明	4.5・3.7 0.2	鉄	埋没土	一部に弧形の外形を残す。板状の鉄製品。全体形状は不明である。

2区34号住居出土遺物観察表《土器》第72図・PL26

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
636	土師器 甕形土器	底部欠損 口 (18.0cm) 高 25.0cm		竈内 灰面直上	①細砂・微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③上半にぶい黄橙10YR7/2 下半橙5YR6/6	頸部が屈曲しないバケツ形の甕形土器。底部は小さく薄い。 外面 口縁部横ナデ、輪積み痕残る。体部上半縦方向篋削り、下半斜方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ、輪積み痕残る。体部上半斜方向篋ナデ、下半横方向ナデ。

2区38号住居出土遺物観察表《土器》第74・75図・PL26・27

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
666	土師器 杯形土器	ほぼ完形 口 12.5cm 高 4.3cm		貯蔵穴内 底面上3.5cm	①微細砂・細砂粒を多く含む ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部～底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。
665	土師器 杯形土器	ほぼ完形 口 11.9cm 高 3.7cm		南壁内 床面上22.5cm	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	湾曲する底部から、短く内傾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
664	土師器 杯形土器	完形 口 12.8cm 高 3.4cm		南東壁内 床面上43.5cm	①細砂・微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	湾曲する底部より、短く直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り、周縁部は指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
658	土師器 甕形土器	口縁～体部下位 $\frac{1}{2}$ 残存 口 23.3cm		中央西寄り 床面上10cm	①細砂・微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	球形の胴部から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋削り、中位～下位斜方向篋削り 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
663	土師器 甕形土器	口縁～体部下位残存 口 23.0cm 高 31.9cm		竈右袖	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	胴部中位に膨らみをもち、口縁部は外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部斜方向篋削り、下位の一部に縦方向指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
661	土師器 甕形土器	口縁～体部下位残存 口 22.3cm		竈右袖	①白色微細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	胴部中位よりやや上に膨らみがあり、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部斜・横方向篋削り。頸部指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
662	土師器 甕形土器	口縁～体部下位 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (23.0cm)		竈右袖 竈内	①細砂・小礫を含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	胴部中位に膨らみがあり、口縁部は外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋削り、中位斜方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
660	土師器 甕形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (11.1cm) 高 32.6cm 底 (5.8cm)		竈内	①細砂・微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい赤褐5YR5/4	胴部上位にやや膨らみがあり、口縁部は外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部斜方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
659	土師器 甕形土器	口縁～体部下位残存 口 21.7cm		竈内 竈左袖	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	胴部中位にやや膨らみがあり、口縁部は外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋削り、中位～下位斜方向篋削り 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
670	土師器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (12.8cm)		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/4	内湾する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部中央篋削り、周縁部ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
671	土師器 盤形土器	口縁～底部破片 口 (15.5cm)		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	体部と口縁部を画す稜線から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り、摩擦が著しく単位・方向は不明。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
672	土師器 盤形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (18.4cm) 高 3.7cm		埋没土	①微細砂を少量含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/8	体部と口縁部を画す稜線から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。

2. 歴史時代前半期の出土遺物

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
673	須恵器 杯形土器	口縁～底部破片 口 (11.6cm)		埋没土	①小礫を少量含む。 ②還元焰。 ③オリーブ灰2.5GY6/1	下位にわずかな丸みをもつ体部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部回転ナデ。底部手持ち篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部回転ナデ。
667	土師器 甕形土器	口縁～体部上1/2残存 口 (17.4cm)		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR6/4	球形の胴部から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋削り、中位斜方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
668	土師器 甕形土器	口縁～体部上1/2残存 口 (23.0cm)		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	球形の胴部から外反し、湾曲する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。

2区38号住居出土遺物観察表《石器》第74・75図・PL27

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石材 重さ (g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S58	磨石・敲石	12.9・6.1 3.8	石英閃緑岩 436	中央西寄り 床面上11.5cm	断面楕円形の棒状礫。上面半分に磨り面、小口に敲打痕が残る。
S57	砥石	15.6・6.4 6.4	砥沢石 815	南壁 床面上17cm	断面正方形の大形の砥石。上面を使用している。

2区39号住居出土遺物観察表《土器》第76・77図・PL28

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
679	土師器 盤形土器	口縁～底部破片 口 (18.0cm)		竈左袖 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/4	体部の弱い稜線から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
674	土師器 甕形土器	口縁～体部下1/2残存 口 19.8cm		竈右袖	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③上半 にぶい黄橙10YR7/3 下半 明赤褐2.5YR5/6	胴部にあまり膨らみをもたない甕形土器。最大径は口縁部にある。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部以下不明。
675	土師器 甕形土器	頸部～体部下1/2残存		竈右袖	①細砂・小礫を多く含む。 ②酸化焰。 ③灰赤2.5YR5/2	胴部上位にあまり膨らみをもたない甕形土器。 外面 頸部横方向指ナデ。体部縦方向篋削り。 内面 頸部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
676	土師器 甕形土器	体部下1/2残存 口 22.2cm 高 34.0cm 底 5.0cm		竈左袖	①細砂・小礫を含む。 ②酸化焰。 ③橙2.5YR6/6	胴部上位に膨らみをもつ。口縁部は外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部斜・縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
678	土師器 甕形土器	口縁部破片・体部上半1/2 残存 口 (22.0cm)		竈内 床面上1.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/8	胴部中に膨らみをもつ甕形土器。口縁部は外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部斜方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
677	土師器 甕形土器	口縁～体部下1/2残存 口 (21.0cm)		竈内 床面上4.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	胴部にあまり膨らみをもたない甕形土器。口縁部は外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部斜方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
681	土師器 杯形土器	口縁～底部1/2残存 口 (12.2cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	底部が湾曲して直立する口縁部に至る。口縁部と体部を画する稜線をもつ。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部ナデ。

2区41号住居出土遺物観察表《土器》第78図・PL28

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1291	土師器 杯形土器	口縁～底部1/2破片 口 (11.4cm)		貯蔵穴内 法面直上	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい赤褐10YR5/3	平底の底部から、わずかに内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部無調整。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧なナデ。
1290	土師器 杯形土器	ほぼ完形 口 12.2cm 高 3.4cm		南西部 床面上5.5cm	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい赤褐2.5YR5/3	平底の底部から、やや膨らみをもって外反する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧なナデ。
1289	土師器 甕形土器	口縁～体部下1/2残存 口 (20.6cm)		南部 床面上5.5cm	①微細砂と少量の小礫を含む ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	口縁部が一旦直立して、上位で外反する。最大径は胴部上位。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋削り、中位縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
1292	土師器 杯形土器	口縁～底部1/2残存 口 (11.8cm)		埋没土	①細砂・微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③明褐7.5YR6/6	平底の底部から、わずかに内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1293	須恵器 杯形土器	口縁～底部1/2残存 口 (12.5cm) 高 3.5cm 底 (6.7cm)		埋没土	①細砂を含む。 ②還元焰。 ③灰10Y4/1	体部下位に丸みをもって外反する。 右回転クロコ整形。底部回転ネジ切り離し。 内外面 回転ナデ調整。

2区45号住居出土遺物観察表《土器》第79・80図・PL29

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1040	土師器 杯形土器	口縁～底部1/2残存 口 (11.8cm) 高 3.5cm		竈外 床面上13cm	①微細砂と少量の小礫を含む ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り後、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。

遺物観察表

(2区45号住居)

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1039	土師器 甕形土器	口縁～体部下位/残存 口 (18.6cm)		竈内 灰面上1.5cm	①細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③灰黄褐10YR5/2	球形に近い胴部から、垂直する頸部、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部斜方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。頸部ナデ。体部横方向寛ナデ。
1041	土師器 杯形土器	口縁～底部/残存 口 (13.4cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい赤褐5YR5/4	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上半横方向指ナデ、下半～底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧なナデ。

2区45号住居出土遺物観察表《石器》第79・80図・PL29

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石材 重さ (g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S111	敲石・磨石	12.5・6.8 5.0	粗粒安山岩 586	埋没土	断面が厚い楕円形を呈する棒状礫。小口の片面に敲打痕が残り、それに接して磨り面もみられる。
S112	磨石	13.3・6.7 3.2	粗粒安山岩 515	埋没土	断面が薄い楕円形を呈する円礫。表裏面に磨り面が残る。
S113	磨石	12.8・7.6 2.7	溶結凝灰岩 412	埋没土	断面が薄い楕円形を呈する円礫。表裏面に磨り面が残る。

2区53号住居出土遺物観察表《土器》第82図・PL29

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
683	土師器 杯形土器	口縁～底部/残存 口 13.8cm 高 3.8cm		竈前・貯蔵穴 西 床面上4.5cm	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
682	土師器 杯形土器	口縁～底部/残存 口 (15.4cm) 高 3.9cm		竈内 床面上6.5cm	①小礫・砂粒を少量含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	内湾する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
684	土師器 甕形土器	頸部～体部中位/残存		竈左袖前 床面上3cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/8	球形胴部から、外反する口縁部に至る。 外面 体部斜方向寛削り。 内面 体部横方向寛ナデ。
685	土師器 盤形土器	口縁～底部/残存 口 (16.0cm)		埋没土	①細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③にぶい褐7.5YR5/4	平底気味の底部から、外湾気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り後、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
686	土師器 杯形土器	口縁～底部破片 口 (14.6cm)		埋没土	①砂粒・微細砂を含むが緻密な胎土。②酸化焰。 ③明赤褐2.5YR5/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ調整。

2区54号住居出土遺物観察表《土器》第84図・PL30

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
702	土師器 盤形土器	口縁～底部/残存 口 (17.0cm) 高 3.8cm		P1 南寄り 床面上4cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	体部の弱い稜線から、外湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
699	土師器 杯形土器	口縁部/欠損 口 15.8cm 高 5.4cm		南周溝内東寄 床面上4.5cm	①微細砂を少量含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	湾曲する底部から、やや内湾気味の体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部寛削り、上半指ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧なナデ。
700	土師器 盤形土器	口縁部/欠損 口 16.5cm 高 3.2cm		南周溝内東寄 床面上9.5cm	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/8	体部の弱い稜線から、外湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
701	土師器 杯形土器	口縁～底部/残存 口 (14.0cm)		東周溝内 床面上20cm	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り、周縁ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
698	土師器 甕形土器	口縁部破片 口 (23.5cm)		東周溝内 床面上8.5cm	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	外反する口縁部破片。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛ナデ。

2区54号住居出土遺物観察表《石器》第84図・PL30

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石材 重さ (g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S69	磨石	12.7・6.3 3.3	石英閃緑岩 423	埋没土	断面楕円形の棒状礫。表面の半分に磨り面が残る。
S70	磨石	8.7・4.3 3.3	砂岩 147	埋没土	断面隅丸三角形の棒状礫。表裏面に磨り面が残る。

2区56号住居出土遺物観察表《土器》第85図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1045	土師器 杯形土器	口縁～底部/残存 口 (12.4cm)		東壁際 床面直上	①細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	わずかな丸底から浅い体部に至る。口縁部はやや外反する。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り後、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。

2. 歴史時代前半期の出土遺物

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1043	土師器 甕形土器	口縁部破片 口 (22.4cm)		煙道部脇 灰面上2.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焙。 ③にぶい橙7.5YR7/4	外反する口縁部破片。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
1044	土師器 甕形土器	口縁～体部上位破片 口 (23.8cm)		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焙。 ③橙5YR6/6	外反する口縁部破片。器内は薄くなっている。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋ナデ。

2区62号住居出土遺物観察表《土器》第86図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1046	土師器 甕形土器	口縁～体部上位破片 口 (20.8cm)		中央部 床面上12.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焙。 ③にぶい橙2.5YR6/6	外反する口縁部破片。胴部上位に膨らみをもつと推定される。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部縦方向篋ナデ。
1047	土師器 杯形土器	口縁～底部残存 口 (13.0cm)		埋没土	①砂粒・小礫を少量含む。 ②酸化焙。 ③橙5YR6/6	丸底から口縁部が短く内傾する。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。

2区63号住居出土遺物観察表《土器》第87図・PL31

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
703	土師器 杯形土器	口縁～底部残存 口 (13.0cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焙。 ③橙7.5YR6/8	わずかな丸底から浅い体部に至り、口縁部は直立する。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
704	土師器 杯形土器	口縁～底部残存 口 12.8cm 高 4.7cm		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焙。 ③にぶい橙5YR6/4	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
705	土師器 杯形土器	口縁～底部残存 口 (13.0cm)		埋没土	①微細砂を含む。緻密。 ②酸化焙。 ③にぶい橙7.5YR6/4	わずかな丸底から浅い体部に至り、口縁部は直立する。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り後、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
706	土師器 杯形土器	口縁～底部残存 口 (17.8cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焙。 ③橙7.5YR6/6	深い丸底から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧なナデ。
707	土師器 杯形土器	口縁～底部残存 口 (11.8cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焙。 ③橙5YR6/6	尖り気味に湾曲する底部から、短く直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
709	須恵器 蓋形土器	天井部破片 口 (13.0cm)		埋没土	①微細黒色鉾物粒を含む。 ②還元焙。 ③黄灰2.5Y6/1	水平な天井部から緩やかに湾曲する口縁部に至り、口縁部寄りに返りがつく。 内外面 回転ナデ。
710	須恵器 蓋形土器	体部上位破片 最 (18.4cm)		埋没土	①微細砂・微細黒色鉾物粒を含む。②還元焙。 ③灰7.5Y6/1	肩の張る蓋形土器破片。 外面 ナデ後、平行沈線2条の間に斜めの櫛歯状工具の刺突文。 内面 ナデ調整。

2区68号住居出土遺物観察表《土器》第88図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1304	土師器 甕形土器	頸部破片 最 (22.9cm)		竈内 床面上7.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焙。 ③赤褐5YR4/6	最大径が胴部上位にあると推定される甕形土器破片。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。

2区69号住居出土遺物観察表《土器》第89図・PL32

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1048	土師器 甕形土器	口縁部破片 口 (21.0cm)		竈内 灰面上7.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焙。 ③にぶい橙5YR7/4	ゆるやかに外反する口縁部破片。体部は膨らみをもつと推定される。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋ナデ。
1049	土師器 杯形土器	口縁～底部破片 口 (13.6cm)		埋没土	①細砂を多く含む。 ②酸化焙。 ③橙5YR6/6	内湾する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部丁寧なナデ。

2区69号住居出土遺物観察表《石器》第89図・PL32

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石重 き (g)	材	出土位置	形状・調整加工の特徴
S116	敲石	14.7・7.1 3.3	553	変質安山岩	南壁際 床面直上	断面長方形を呈する礫。巾の広い方の小口に敲打痕を残す。
S115	敲石・磨石	18.0・7.2 4.3	860	粗粒安山岩	南壁際 床面上5.5cm	断面楕円形を呈する円礫。一端を欠く。小口の片方と一側縁に敲打痕を残す。また、裏面には磨り面が残る。

遺物観察表

2区79号住居出土遺物観察表《土器》第91図・PL32

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1314	須恵器 杯形土器	口縁～体部 $\frac{1}{2}$ 破片 口(14.0cm)高 3.6cm	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③褐灰10YR6/1	底部の周辺部に凹線が巡るため削り出し高台のようにみえる。 内外面 回転ナデ調整。削り出し高台。
1315	須恵器 蓋形土器	口縁部破片 口(16.0cm)	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③明赤褐2.5YR5/6	水平な天井部から緩やかに湾曲して口縁部に至り、つまみ出した短い返りが付く。内外面ともナデ調整。
1313	土師器 甕形土器	口縁部破片 口(21.8cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明褐7.5YR5/6	外反する口縁部破片。胴部中位に膨らみをもつと推定される。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向寛ナデ。
1316	土製品 紡錘車	完形 径 3.4cm 高 2.1cm 底 4.3cm 重 43.8g	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい褐7.5YR6/3	断面台形を呈する。やや上面が膨らんでいる。 焼成前穿孔。 外面 上面指ナデ。側面指押え。下面丁寧なナデ。

2区79号住居出土遺物観察表《石器》第91図・PL32

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石 重 (g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S133	紡錘車	5.2 2.0	蛇紋岩(滑石質) 73.8	埋没土	断面台形を呈する。上・下面および側面は磨かれているが、使用による擦痕が多くつけられている。

2区82号住居出土遺物観察表《土器》第92図

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1054	須恵器 蓋形土器	天井部～口縁部 $\frac{1}{2}$ 残存 口(21.0cm)	南西隅 床面上12.5cm	①微細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③灰N6/0	水平な天井部・直線的な体部から短く内傾する口縁部に至る。大きな環状の摘みを付ける。 内外面 回転ナデ。
1051	土師器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口(12.2cm)高 3.0cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明褐7.5YR5/6	平底からやや膨らみをもって外反する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部寛削り後指ナデ。底部寛削り。体部に「万」の墨書。内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧なナデ。
1052	土師器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口(11.8cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	平底からわずかに内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧なナデ調整。
1053	土師器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 破片 口(13.0cm)	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	平底から外反する体部に至る。口縁部下に稜線をもつ。 外面 口縁部横ナデ。体部指押え。底部横方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧なナデ。
1050	土師器 甕形土器	口縁～体部上位 $\frac{1}{2}$ 残存 口(19.2cm)最(20.6cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/8	口縁部が一旦直立して上位で外反する。胴部上位に最大径。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横・斜方向寛削り、中位縦方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛ナデ。

2区88号住居出土遺物観察表《土器》第94図・PL33

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
711	土師器 甕形土器	口縁～体部上位 $\frac{1}{2}$ 残存 口(25.0cm)	竈右袖 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙2.5YR6/6	球形胴部から、外反する口縁部に至る。口縁端部はやや内湾する。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向寛削り、器面が荒れており単位は不明瞭。内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛ナデ。
713	土師器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口(13.3cm)高 3.9cm	埋没土	①微細砂と少量の細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR6/4	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
714	須恵器 杯形土器	口縁～底部破片 口(10.0cm)	埋没土	①石英粒・砂粒を多く含む。 ②還元焰。 ③灰オリーブ5Y5/2	丸底気味の底部から、外反する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。底部ナデ調整。
715	須恵器 杯形土器	口縁～底部破片 口(12.0cm)	埋没土	①微細白色鉱物粒を含む。 ②還元焰。 ③灰7.5Y6/1	丸底気味の底部から、外反する体部に至る。 外面 体部回転ナデ。底部右回転寛削り。 内面 回転ナデ調整。
761	土師器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口(12.6cm)	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削りと思われるが、摩耗が著しく単位・方向等不明。内面 口縁部横ナデ。底部ナデ。
712	土師器 甕形土器	口縁部破片 口(23.0cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/6	端部がやや内湾する甕形土器の口縁部破片。 外面 口縁部横ナデ。 内面 口縁部横ナデ。

2区97号住居出土遺物観察表《土器》第96図・PL33

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1058	須恵器 高台付 杯形土器	口縁部 $\frac{1}{2}$ 欠損 口(15.1cm)高 4.1cm 底 10.6cm	南壁際 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③灰白7.5Y7/1	平底の底部から直線的に外反し、内端が接地する断面台形の高台を付す 外面 口縁部～体部回転ナデ。体部下位～底部回転寛削り。高台部ナデ 内面 口縁部～体部回転ナデ。底部手持ち寛ナデ。
1056	土師器 杯形土器	口縁～体部中位 $\frac{1}{2}$ 残存 口(12.0cm)	埋没土	①微細砂を少量含むが、緻密な胎土。②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部丁寧なナデ。

2. 歴史時代前半期の出土遺物

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1057	土師器 杯形土器	口縁～底部破片	口 (11.0cm)	埋没土	①微細砂を少量含む。 ②酸化焙。 ③橙7.5YR6/6	丸底から、稜線をもって短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1055	土師器 甕形土器	口縁～体部上位ノ残存	口 (24.0cm)	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焙。 ③明赤褐2.5YR5/6	やや膨らみをもった胴部から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。指押えが残る。体部上位横方向寛削り、中位縦方向寛削り。内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛ナデ。

2区97号住居出土遺物観察表《石器》第96図・PL33

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	重量 (g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S117	敲石	14.3・4.5 5.1	393	南壁際 床面直上	断面隅丸三角形を呈する棒状礫。小口の一端に敲打痕を残す。

2区104号住居出土遺物観察表《土器》第97・98図・PL34

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1065	土師器 杯形土器	口縁～底部ノ残存	口 (14.0cm) 高 3.5cm	南西P脇 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焙。 ③にぶい褐7.5YR5/4	内湾する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向寛削り後、指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部丁寧なナデ。
1066	土師器 杯形土器	口縁～底部ノ残存	口 (12.4cm)	南西P脇 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焙。 ③橙5YR6/6	内湾する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り後、細かいナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1077	須恵器 杯形土器	口縁～底部ノ残存	口 (13.8cm) 高 3.6cm 底 (11.0cm)	東壁際 床面直上	①微細砂と細砂を少量含。 ②還元焙。③内 灰白5Y7/1 外 灰5Y5/1	上げ底気味の底部で器内が口縁部に向かって薄くなる。 右回転クロコ整形。切り離し後、回転削り。 内外面 回転ナデ調整。
1079	須恵器 杯形土器	口縁～底部ノ残存	口 (13.0cm) 高 3.7cm 底 (10.0cm)	南西P脇 床面上4cm	①黒色鉱物細粒を多く含む。 ②還元焙。 ③灰5Y6/1	下位に寛削りを施し、直線的に外反する体部。 外面 口縁部～体部横ナデ、ナデ調整。底部回転寛削り。 内面 口縁部～体部横ナデ、回転ナデ。底部回転ナデ。
1080	須恵器 杯形土器	口縁部一部欠損	口 13.6cm 高 3.2cm 底 9.1cm	北西隅 床面上5cm	①砂粒・細砂・微細砂を多量 に含む。②還元焙。 ③灰白7.5Y7/1	下位に寛削りを施し、直線的に外反する体部。 外面 口縁部～体部回転ナデ調整。底部右回転寛削り。 内面 回転ナデ調整。
1064	土師器 杯形土器	完形	口 13.3cm 高 2.9cm	南壁際 床面上8.5cm	①微細砂を含む。 ②酸化焙。 ③橙7.5YR7/6	わずかな丸底から、浅い体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り、周縁ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1078	須恵器 杯形土器	口縁部一部欠損	口 13.6cm 高 3.6cm 底 8.2cm	南壁際 床面上13.5cm	①細砂・微細砂を多く含む。 ②還元焙。 ③灰白5Y7/1	下位に寛削りを施し、直線的に外反する体部。 外面 口縁部～体部回転ナデ調整。体部下位～底部右回転寛削り。 内面 回転ナデ調整。
1067	土師器 杯形土器	口縁～底部ノ残存	口 (12.2cm)	竈前 床面上15cm	①細砂・微細砂を多量に含む ②酸化焙。 ③明赤褐5YR5/8	平底気味の底部から、湾曲気味の体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り後、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1076	須恵器 杯形土器	口縁～底部ノ残存	口 (14.0cm) 高 3.7cm	東壁際 床面上23cm 底 8.9cm	①小礫・細砂を多量に含む。 ②還元焙。 ③灰白5Y8/2	下位にやや膨らみをもって外反する体部。 外面 口縁部～体部回転ナデ調整。体部下位～底部右回転寛削り。 内面 回転ナデ調整。
1062	土師器 鉢形土器	口縁部破片	口 (19.0cm)	竈前 床面上3cm	①砂粒を多量に含む。 ②酸化焙。 ③赤褐5YR4/6	膨らみをもたない体部から、ごく小さく外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位指ナデ、中位縦方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛ナデ。
1059	土師器 甕形土器	底部下位ノ残存	底 4.6cm	南壁寄り 床面上5.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焙。 ③明赤褐2.5YR5/6	小さな底部から直線的に立ち上がる甕形土器の体部。 外面 体部下位斜方向寛削り。底部寛削り。 内面 体部下位横方向寛ナデ。
1068	土師器 杯形土器	口縁～底部ノ残存	口 (12.6cm) 高 3.3cm	埋没土	①細砂を多く含む。 ②酸化焙。 ③橙7.5YR6/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。底部中央に「★」(千万)の墨書。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1069	土師器 杯形土器	口縁～底部ノ残存	口 (13.2cm) 高 4.2cm	竈埋没土	①細砂を多く含む。 ②酸化焙。 ③にぶい褐7.5YR5/4	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1070	土師器 盤形土器	口縁～底部ノ残存	口 (13.7cm) 高 2.9cm	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焙。 ③にぶい橙5YR7/4	体部の弱い稜線から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1071	土師器 杯形土器	口縁～底部破片	口 (17.1cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焙。 ③にぶい褐7.5YR5/4	内湾する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り、周縁ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1072	土師器 杯形土器	口縁～体部ノ残存	口 (15.6cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焙。 ③にぶい赤褐5YR5/4	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上半無調整、下半横方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部丁寧なナデ。
1073	土師器 杯形土器	口縁～底部ノ残存	口 (16.0cm)	埋没土	①微細砂を含む。緻密。 ②酸化焙。 ③明赤褐5YR5/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1074	土師器 盤形土器	口縁～底部ノ残存	口 (15.0cm)	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焙。 ③にぶい橙7.5YR7/4	平底の底部から、外湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。

遺物観察表

(2区104号住居)

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1081	須恵器 杯形土器	口縁～底部残存	口(14.0cm)高 3.2cm 底(9.8cm)	埋没土	①黒色鉱物粒を含む。 ②還元焰。 ③灰5Y5/1	わずかに丸い底部から、直線的に外反する体部に至る。 外面 回転ナデ。底部の整形は摩耗が著しく明瞭でない。 内面 回転ナデ。
1082	須恵器 杯形土器	口縁～底部破片	口(13.5cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焰。 ③灰N5/0	器内の厚い底部から、直線的に外反する体部に至る。 外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転寛削り。 内面 口縁部～底部回転ナデ。
1075	土師器 椀形土器	口縁～体部下位残存	口(16.4cm)高 5.1cm	埋没土	①微細砂を少量含む。緻密。 ②酸化焰。 ③黄褐10YR5/6	下位に膨らみをもつ深い体部から、やや外反する口縁部に至る。 外面 口縁部～体部横方向寛磨き。 内面 口縁部～体部横方向寛磨き。黒色処理。
1060	土師器 甕形土器	口縁～体部中位破片	口(20.0cm)	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	中位に膨らみをもつ胴部から、ゆるやかに外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部横・斜方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛ナデ。
1061	土師器 甕形土器	口縁～体部中位破片	口(21.2cm)	竈埋没土	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/8	中位に膨らみをもつ胴部から、ゆるやかに外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。輪積み痕残る。体部横・斜方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛ナデ。
1063	土師器 台付 甕形土器	体部下位～台部残存	底(8.4cm)	埋没土	①微細砂・赤色鉱物粒を含む ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	低く開く台部破片。 外面 体部横方向ナデ。台部横方向ナデ。 内面 体部横方向寛ナデ。台部ナデ。

2区105号住居出土遺物観察表《土器》第99区

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1317	土師器 甕形土器	口縁部破片	口(19.6cm)	埋没土	①微細砂・細砂を多量に含む ②酸化焰。 ③にぶい橙10YR6/3	外反する口縁部破片。 外面 口縁部横ナデ。 内面 口縁部横ナデ。

2区106号住居出土遺物観察表《土器》第100区

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1319	土師器 杯形土器	口縁～底部破片	口(12.0cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/4	平底から、わずかに内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧なナデ。
1318	土師器 甕形土器	口縁部破片	口(19.2cm)	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	外反する口縁部破片。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向寛ナデ。

2区107号住居出土遺物観察表《土器》第102区・PL35

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1322	土師器 杯形土器	口縁～底部残存	口(12.8cm)高 3.4cm	南壁内 床面上3cm	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	内湾する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り、周縁ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1323	土師器 杯形土器	口縁～底部残存	口 14.6cm 高 4.1cm	中央北壁寄り 床面上8.5cm	①細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/8	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1320	土師器 小形 甕形土器	口縁～底部残存	口 11.4cm 高 10.0cm	南壁内 床面直上	①細砂・小礫を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	小さな丸底から、偏平な球形胴部に至る。口縁部は一旦直立し、小さく外反する。外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ、下端指ナデ。体部～底部横方向寛削り。内面 口縁部横ナデ。体部～底部横方向寛ナデ。
1321	土師器 甕形土器	口縁～体部上位破片	口(22.2cm)	竈右袖前 床面上8.5cm	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/4	胴部にやや膨らみをもち、ゆるやかに外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛ナデ。
1325	土師器 盤形土器	口縁～底部残存	口(18.0cm)高 3.3cm	埋没土	①細砂・小礫を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	体部の弱い稜線から、外湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1326	須恵器 高台付 杯形土器	底部残存	底(12.4cm)	埋没土	①細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③灰10Y5/1	平底の底部から直線的に外反し、断面台形の高台を付す。 右回転クロク整形。底部回転寛削り。切り離し技法不明。付高台。 内外面 回転ナデ調整。
1327	須恵器 蓋形土器	天井～口縁部破片	口(15.0cm)	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③灰白7.5YR8/1	水平な天井部から緩やかに湾曲する口縁部に至り、口縁部寄りに返りが付く。右回転クロク整形。天井部回転寛削り。 外面 口縁部回転ナデ調整。 内面 回転ナデ調整。

2区107号住居出土遺物観察表《石器》第102区・PL35

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石重 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S134	磨石	12.7・4.2 3.6	ひん岩 300	埋没土	断面隅丸三角形の棒状礫。裏面に磨り面が残る。

2. 歴史時代前半期の出土遺物

2区108号住居出土遺物観察表《土器》第103区

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
739	土師器 甕形土器	口縁～体部中位ノ残存 口(19.0cm)	南東隅 床面上3cm	①微細砂・細砂を多量に含む ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR7/4	球形の胴部から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上半横・斜方向篋ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部上半横方向篋ナデ。
740	須恵器 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口(12.8cm)高 3.8cm	埋没土	①微細黒色鈳物粒・白色鈳物 粒を含む。②還元焰。 ③灰N5/	平底から膨らみをもって外反する体部に至る。 外面 体部回転ナデ調整。底部右回転糸切り。 内面 体部回転ナデ。
741	須恵器 杯形土器	口縁～底部破片 口(12.8cm)高 3.6cm 底(8.0cm)	埋没土	①黒色鈳物粒を多く含む。 ②還元焰。 ③灰10Y6/1	わずかな膨らみをもって外反する体部。 外面 口縁部～体部回転ナデ。底部回転篋切り後、周縁のみナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部回転ナデ。
742	須恵器 杯形土器	底部ノ破片 底(3.8cm)	埋没土	①微細黒色鈳物粒を含む。 ②還元焰。硬質。 ③灰7.5Y6/1	平底から直線的に外反する体部。 外面 底部回転篋切り。 内面 底部回転ナデ調整。

2区110号住居出土遺物観察表《土器》第104区・PL36

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1328	須恵器 横瓶	口縁部欠損 最 11.3cm 底 6.2cm	住居南側 遺構確認面	①細砂・黒色鈳物細粒を含む。 ②還元焰。 ③灰7.5Y6/1	平底からわずかに膨らみをもって外反する体部。体部上面も膨らみがある。 回転クロコ整形。底部回転篋切り後、手持ち篋削り。 内外面 回転によるナデ調整。外面 肩部上位に1条の沈線を巡らす
1329	土師器 甕形土器	口縁部破片 口(18.0cm)	住居南側 遺構確認面	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい赤褐5YR5/3	胴部上位に膨らみもち、わずかに外反する口縁部に至る。 外面 口縁部～頸部横ナデ。体部上位横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋ナデ。

2区111号住居出土遺物観察表《土器》第105区

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1330	須恵器 杯形土器	底部ノ残存 底(9.6cm)	南部 床面上2.5cm	①細砂・小礫を含む。 ②還元焰。 ③灰5Y6/1	体部下位に篋削りを施す。 左回転クロコ整形。底部回転糸切り離し後、周縁のみ回転篋削り。 内外面 回転ナデ調整。

2区111号住居出土遺物観察表《石器》第105区・PL36

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石重 材重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S135	磨石・敲石	12.6・5.7 3.9	石英閃緑岩 480	埋没土	断面隅丸長方形を呈する棒状礫。小口の方に敲打痕を残す。裏面には磨り面を残す。
S136	敲石	12.8・3.5 3.2	粗粒安山岩 370	埋没土	断面楕円形を呈する棒状礫。一側縁の端部に敲打痕を残す。
S137	磨石・敲石	10.3・5.2 3.0	粗粒安山岩 260	埋没土	断面楕円形を呈する棒状礫。小口の方に敲打痕を残す。裏面には磨り面を残す。
S138	磨石・敲石	7.6・5.5 3.3	粗粒安山岩 260	埋没土	断面隅丸長方形の円礫の半欠。一側縁の端部に敲打痕を残す。また、表裏面には磨り面を残す。

2区8号土坑出土遺物観察表《土器》第106区・PL36

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1433	土師器 杯形土器	口縁～底部ノ破片 口(11.0cm)高 2.5cm	埋没土	①細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	平底からわずかに内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。
1436	土師器 杯形土器	口縁～底部ノ破片 口(11.0cm)高 2.9cm	埋没土	①細砂・微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	平底からわずかに内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。粘土塊の痕跡が残る。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。
1434	土師器 杯形土器	口縁～底部ノ破片 口(11.4cm)高 2.6cm	埋没土	①微細砂をごく少量含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	平底からやや膨らみをもって外反する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部粘土塊の痕跡が残る。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。
1435	土師器 盤形土器	口縁～底部ノ破片 口(18.0cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	平底気味の底部から、外湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削りと思われるが摩耗が著しい。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデにナデられていたと見られるが摩耗著し
1437	須恵器 高台付 碗形土器	底部・高台部残存 底 7.5cm	埋没土	①細砂・黒色鈳物粒を多く含む。 ②還元焰。 ③灰5Y6/1	体部下位に丸みもち、やや開いた高台を付す。 右回転クロコ整形。底部回転糸切り離し。付高台。 内外面 高台接合部回転ナデ調整。体部回転ナデ調整。
1439	須恵器 碗形土器	口縁～底部ノ残存 口(14.9cm)高 5.4cm 底(7.2cm)	埋没土	①細砂・小礫を多く含む。 ②還元焰。 ③灰7.5Y6/1	丸みをもった浅い体部に、断面台形の低い高台が付す。 右回転クロコ整形。底部回転糸切り離し。付高台。 内外面 高台接合部回転ナデ調整。体部回転ナデ調整。
1438	須恵器 碗形土器	口縁～底部ノ残存 高台部欠損 口(16.0cm)	埋没土	①微細砂・細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③オリブ黒5Y3/1	底部から直線的に外反し、体部にクロコ痕が顕著。 右回転クロコ整形。底部回転糸切り後、手持ち篋削り。付高台。 内外面 高台接合部ナデ。体部回転ナデ調整。

遺物観察表

3区1号住居出土遺物観察表《土器》第108図・PL38

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1333	土師器 甕形土器	口縁部破片 口 (23.0cm)	竈 灰面直上	①細粒を多量に含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	膨らみをもたない胴部から、緩やかに外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向篋ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
1331	須恵器 杯形土器	完形 口 12.6cm 高 3.8cm 底 6.5cm	西壁際 床面上6cm	①微細砂・細砂を含む。 ②還元焰。 ③オリブ灰5GY5/1	下部にやや膨らみをもって外反する体部。 右回転クロコ整形。回転糸切り離し。 内外面 回転ナデ調整。
1332	須恵器 高台付 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (15.0cm) 高 3.7cm 底 (11.8cm)	南東隅 床面上10cm	①微細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③浅黄5Y7/3	体部が直線的に外反し、内端が接地する断面台形の高台を付す。 右回転クロコ整形。底部回転糸切り離し。 内外面 回転によるナデ調整。
1336	土師器 杯形土器	口縁～体部ノ残存 口 (11.0cm)	埋没土	①微細砂を少量含む。 ②酸化焰。 ③にぶい褐7.5YR5/4	平底の底部から、やや膨らみをもって外反する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部下指押え。底部篋ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部丁寧なナデ。
1334	土師器 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (11.8cm) 高 3.3cm	埋没土	①微細砂を少量含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	平底の底部から、外反する体部に至る。口縁部は大きく開く。 外面 口縁部横ナデ。体部指押え。底部篋ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧なナデ。中心部放射状の指押え。
1335	土師器 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 12.7cm	埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	平底の底部から、やや膨らみをもって外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋ナデ後、周縁のみ指押え。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1337	須恵器 蓋形土器	天井部破片 摘 5.4cm	埋没土	①細砂を含む。 ②還元焰。 ③灰7.5Y6/1	水平な天井部。ボタン状の摘みを付す。 内外面 回転ナデ調整。

3区3号住居出土遺物観察表《土器》第109図・PL38

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1085	土師器 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (13.0cm)	南東隅 床面直上	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/4	内湾する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部ナデ。底部篋ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧なナデ。
1087	須恵器 杯形土器	底部ノ残存 底 (7.6cm)	竈前 床面直上	①細砂・小礫を含む。 ②還元焰。 ③灰白10Y7/1	平底から、体部が屈曲して立ち上がる。 外面 底部右回転篋ナデ。 内面 底部回転ナデ。
1083	土師器 甕形土器	口縁～体部中位ノ残存 口 (18.4cm)	竈左袖前 床面直上	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	膨らみをもたない胴部から、わずかに外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向篋ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
1088	須恵器 杯形土器	底部残存 底 8.0cm	竈左袖脇 床面上7cm	①微細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③灰10Y5/2	平底から、体部が屈曲して立ち上がる。 外面 底部右回転篋ナデ。 内面 底部回転ナデ。
1084	土師器 甕形土器	口縁～体部中位ノ残存 口 (19.0cm)	竈内 床面上10.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/4	最大径が胴部上位にあり、口縁部があまり外反しない。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋ナデ。中位縦方向篋ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部横・斜方向篋ナデ。
1089	須恵器 蓋形土器	摘～口縁部ノ残存 口 (13.2cm) 高 2.3cm	北東壁寄り 床面上5cm	①細砂を含む。黒色鉱物粒を多く含む。②還元焰。 ③灰白7.5Y7/1	水平な天井部から、緩やかに湾曲する口縁部に至り、口縁部寄りにわずかな返りを付す。外面 摘み部ナデ。天井部回転篋ナデ。口縁部横ナデ。内面 天井部～口縁部回転ナデ。
1086	土師器 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (13.0cm)	埋没土	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR7/8	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋ナデと見られるが、摩耗が著しく単位等は不明。内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。

3区3号住居出土遺物観察表《金属器》第109図・PL38

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	材質	出土位置	形状・調整加工の特徴
M27	刀子	10.9・1.3 0.6	鉄	北東壁寄 床面上4cm	刃部長8.3cmの両関の刀子。茎子は関から2.6cmほどのところで欠損している。

3区5号住居出土遺物観察表《土器》第111図・PL39

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
384	土師器 杯形土器	ほぼ完形 口 12.0cm 高 3.3cm	竈前 床面直上	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/8	湾曲する底部から、短く直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
386	土師器 杯形土器	口縁～底部ノ残存 口 (12.4cm) 高 4.0cm	西壁際 床面直上	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	湾曲する底部から、長めに直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
385	土師器 盤形土器	口縁～底部ノ残存 口 (17.6cm)	A竈左前 床面上1.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	体部の弱い稜線から、外湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
387	土師器 盤形土器	口縁～底部ノ残存 口 (15.8cm)	南西隅 床面上6cm	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	体部の弱い稜線から、外湾する短い口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。

2. 歴史時代前半期の出土遺物

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
383	土師器 甕形土器	口縁～体部下位残存 口 22.0cm	南甕左袖	①多量の微細砂と赤色鉱物粒を含む。②酸化焰。 ③橙5YR6/6	上位に膨らみをもつ体部から、短く屈曲して外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。下位は寛調整のまま。頸部横ナデ。体部斜方向寛削り。一部ナデ。内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛ナデ。
390	土師器 盤形土器	口縁～底部残存 口 16.5cm 高 4.2cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	平底気味の底部から、外湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
391	土師器 盤形土器	口縁～底部破片 口 (16.6cm)	埋没土	①微細砂を少量含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	平底気味の底部から、外湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部中央削り後、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ調整。
392	土師器 盤形土器	口縁～底部残存 口 (17.2cm)	埋没土	①砂粒・石英細粒を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	体部の弱い稜線から、外湾する口縁部に至る。 外面 底部横方向寛削り。口縁部横ナデ。 内面 底部丁寧なナデ調整。口縁部横ナデ。
393	土師器 杯形土器	口縁～体部下位残存 口 (12.0cm)	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上半指ナデ。下半寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部丁寧なナデ。
394	土師器 杯形土器	口縁部破片 口 (12.6cm)	埋没土	①微細砂を少量含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	体部と口縁部を画す稜線をもつ。 外面 口縁部横ナデ。底部削り。 内面 口縁部横ナデ。底部ナデ調整。
388	土師器 甕形土器	口縁～体部上位残存 口 (23.8cm)	埋没土	①石英粒・細砂を多く含。 ②酸化焰。 ③にぶい赤褐5YR5/4	膨らみをもたない体部から、緩やかに外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。頸部指ナデ。体部上位縦方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛ナデ。
389	土師器 甕形土器	口縁～体部上位破片 口 (24.0cm)	埋没土	①細砂・砂粒を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/4	膨らみをもたない体部から、緩やかに外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛ナデ。
395	須恵器 蓋形土器	天井・摘み部破片 口 (18.6cm)	埋没土	①微細砂を少量含む。 ②還元焰。 ③灰5Y6/1	水平な天井部、浅い体部から、緩やかに湾曲する口縁部に至る。口縁部寄りにわずかな返りが付く。外面 天井部回転削り。摘み部回転ナデ調整。内面 周縁部回転ナデ調整。中央部手持ちナデ調整。
396	須恵器 蓋形土器	口縁部破片 口 (15.8cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焰。 ③灰7.5Y6/1	水平な天井部から緩やかに湾曲する口縁部に至り、短い返りが付く。 外面 天井部回転削り。口縁部横ナデ。 内面 回転ナデ調整。

3区6号住居出土遺物観察表《土器》第113図・PL40

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1095	土師器 杯形土器	口縁～底部残存 口 (13.4cm) 高 3.4cm	南壁際 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	わずかな丸底から、浅い体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。周縁指押え。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1098	須恵器 杯形土器	ほぼ完形 口 14.5cm 高 3.7cm 底 5.5cm	南壁際 床面上3cm	①微細砂を含む。 ②還元焰。 ③(外)黒(内)浅黄2.5Y7/3	やや膨らみをもって外反する体部。下位に寛削りを施す。 外面 口縁部～体部中位回転ナデ。体部下位回転削り。底部回転糸切り離し後、周縁のみ回転削り。内面 回転ナデ。
1094	須恵器 甕形土器	口縁～体部上位残存 口 (17.0cm)	北壁際 床面上13.5cm	①微細砂・黒色微細鉱物粒を含む。②還元焰。 ③灰N6/	肩の張る体部から、直立に近く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部回転ナデ。体部平行タキ後ナデ。 内面 口縁部回転ナデ。体部横方向ナデ。
1093	土師器 台付 甕形土器	台部残存 底 8.4cm	埋没土	①挟雑物のない緻密な胎土 ②酸化焰。 ③にぶい橙2.5YR6/4	ハの字に開く、やや高い台部。 外面 台部回転ナデ調整。 内面 体部寛削り後ナデ。台部回転ナデ調整。
1096	土師器 杯形土器	口縁～底部残存 口 (12.1cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/8	平底気味の底部から、湾曲気味の体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1097	土師器 盤形土器	口縁～底部残存 口 (14.0cm)	埋没土	①細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙2.5YR6/6	体部の弱い稜線から、外湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1099	須恵器 杯形土器	口縁～底部破片 口 (15.0cm) 高 3.0cm	埋没土	①微細黒色鉱物粒を多く含む ②還元焰。 ③明青灰5PB7/1	直線的に外反する体部。 外面 回転ナデ調整。底部切り離し後、回転削り。 内面 回転ナデ調整。
1100	須恵器 蓋形土器	破片 口 (16.0cm)	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③にぶい黄2.5Y6/3	水平な天井部から緩やかに湾曲する口縁部に至り、口縁部は垂直気味に垂れる。外面 右回転削り後、周縁部のみ横ナデ。 内面 回転ナデ調整。
1101	須恵器 蓋形土器	口縁部破片 口 (19.8cm)	埋没土	①微細砂を少量含む。緻密。 ②還元焰。 ③灰白10Y7/1	浅い体部から、垂直気味の口縁部に至る。 内外面 回転ナデ調整。
1102	須恵器 蓋形土器	摘み部破片 摘 (5.0cm)	埋没土	①砂粒を含む。 ②還元焰。 ③明黄褐2.5Y7/6	水平な天井部に輪状の摘みを付す。 内外面 回転ナデ。
1092	ロクロ 土師器 鉢形土器	口縁～底部残存 口 (20.2cm) 高 10.7cm 底 (10.6cm)	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄橙10YR7/4 内黒	上位に膨らみをもって外反する体部から、短く外傾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部回転ナデ。底部回転糸切り離し後周縁寛ナデ 内面 口縁部横ナデ。体部～底部ナデ後寛磨き。
1090	土師器 甕形土器	口縁～体部上位残存 口 (21.0cm)	埋没土	①微細砂・少量の小礫を含 ②酸化焰。 ③にぶい橙2.5YR6/4	中位に膨らみをもつ胴部から、短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛削り。

遺物観察表

(3区6号住居)

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1427	土製品 羽口	基部～端部/残存 高 8.8cm 最 (7.5cm)	埋没土	①微細砂・砂粒を含む。 ②酸化焙。 ③(外) ぶい黄橙10YR7/4 (内) 橙7.5YR6/6	外径7.5cmほどとみられる羽口の破片。 通風口の内径は2.5cmと推定できる。
1428	土製品 羽口	両端部欠損 最 (8.2cm)	埋没土	①細砂を含む。 ②酸化焙。 ③ぶい黄橙10YR7/4	炉内に挿入する端部の破片。丸くすばまるようにつくられていたと思われるが、先端部は欠損している。滓の付着する角度は30°である。通風口の内径は1.8～2.0cmである。
1426	土製品 羽口	基部欠損 最 (8.3cm)	埋没土	①細砂を含む。 ②酸化焙。 ③(外) 灰黄2.5Y7/2 (内) ぶい黄橙10YR7/4	炉内に挿入する端部の破片。端部は、25°ほど斜めにつくられており、滓の付着角度もそれに準じる。通風口の内径は2.5cmである。

3区6号住居出土遺物観察表《金属器》第113図・PL40

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	材質	出土位置	形状・調整加工の特徴
M30	鉄鍔	7.2残・最2.8 刃0.2・茎0.3	鉄	埋没土	やや丸い長三角形で脇扶をもつ鍔身に、短い闊篋被がつく。茎は2.5cmほどで欠損している。

3区7号住居出土遺物観察表《土器》第115図・PL41

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1105	土師器 杯形土器	完形 口 12.0cm 高 3.4cm	貯蔵穴左脇部 床面上7.5cm	①微細砂を少量含む。 ②酸化焙。 ③ぶい橙5YR7/4	平底気味の底部から、湾曲する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1103	土師器 甕形土器	口縁～体部下位/残存 口 22.0cm	南東部P脇部 床面上8cm	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焙。 ③橙7.5YR6/6	上位に膨らみをもつ胴部から、緩やかに外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位斜方向篋削り。下位縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
1106	土師器 杯形土器	口縁部破片 口 (13.0cm)	埋没土	①微細砂を少量含む。緻密。 ②酸化焙。 ③明赤褐5YR5/6	平底気味の底部から、湾曲する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部指押え。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧ナデ。
1107	須恵器 杯形土器	底部/破片 底 (10.4cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焙。 ③灰7.5Y6/1	平底から直線的な体部に至る。 内外面 回転ナデ調整。切り離し技法、摩耗が著しく不明。
1104	土師器 甕形土器	口縁～体部中位/残存 口 (20.2cm)	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焙。 ③明赤褐5YR5/8	上位に膨らみをもつ胴部から、緩やかに外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋削り。中位斜方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。

3区8号住居出土遺物観察表《土器》第116図

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1108	土師器 杯形土器	口縁～底部/残存 口 (10.6cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焙。 ③ぶい褐7.5YR5/3	平底気味の底部から、湾曲する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。周縁ナデ。 内面 口縁部横ナデ。丁寧ナデ。

3区5号溝出土遺物観察表《土器》第117図・PL41

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1343	土師器 杯形土器	口縁～底部破片 口 (11.0cm) 高 2.9cm	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焙。 ③明赤褐5YR5/6	平底の底部から、やや膨らみをもって外反する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。
1342	土師器 杯形土器	口縁～底部破片 口 (13.4cm) 高 4.2cm	埋没土	①少量の微細砂と赤色鉱物粒を含む。 ②酸化焙。 ③黄褐10YR5/6	湾曲する底部から、短く直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部～底部篋削り後ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ。
1344	土師器 杯形土器	口縁～体部破片 口 (11.0cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焙。 ③ぶい赤褐5YR5/4	平底からわずかに内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部丁寧ナデ後、縦方向の細い暗文が施されている。
1345	須恵器 杯形土器	口縁～底部/残存 口 (12.6cm) 高 4.0cm 底 6.3cm	埋没土	①微細砂・小礫を多く含む。 ②還元焙。 ③灰5Y5/1	平底からわずかな膨らみをもって外反する体部に至る。 右回転クロコ整形。底部回転系切り離し。 内外面 回転ナデ調整。
1346	須恵器 杯形土器	口縁～底部/残存 底 (8.8cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焙。 ③灰白5Y7/2	厚い器内の底部から、直線的に外反する体部に至る。 回転クロコ整形。底部切り離し後、手持ち篋ナデ。 内外面 回転ナデ調整。

5区2号住居出土遺物観察表《土器》第118図

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1356	土師器 杯形土器	口縁～底部/残存 口 (13.4cm)	南部 床面直上	①微細砂を含む。 ②酸化焙。 ③橙5YR6/8	平底気味の底部から、湾曲気味の体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部ナデ。底部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧ナデ調整。

2. 歴史時代前半期の出土遺物

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1357	須恵器 杯形土器	口縁～底部1/2残存 口(13.4cm)高 底(8.8cm)	3.4cm	南東部 床面上16cm	①黒色鉱物細粒を含む。 ②還元焰。 ③灰N6/	平底から下位に膨らみをもって外反する体部に至る。 右回転クロコ整形。底部回転糸切り離し。 内外面とも回転ナデ調整。
1358	須恵器 碗形土器	底部残存 底(8.0cm)		北中央部 床面上4.5cm	①微細砂・白色鉱物粒を含む ②還元焰。 ③灰N5/	下位に膨らみをもって外反する体部。断面台形の高台を付す。 右回転クロコ整形。底部回転糸切り離し。付高台。 内外面 回転ナデ調整。
1355	土師器 甕形土器	口縁～体部上位1/2残存 口(20.2cm)		竈内 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	口縁部が一旦直立して上位で外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋削り。
1354	土師器 小形 甕形土器	口縁～体部上位破片 口(11.6cm)		北東部 床面上2cm	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	口縁部が一旦直立して上位で外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋削り。

5区3号住居出土遺物観察表《土器》第119図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1359	土師器 杯形土器	口縁～底部1/2残存 口(11.2cm)高 底(6.8cm)	2.5cm	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	平底からわずかに内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部下位指押え。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧なナデ。
1872	須恵器 杯形土器	口縁～底部1/3残存 口(6.2cm)高 底(5.6cm)	4.0cm	中央部東寄り 床面上12.5cm	①微細砂を少量含む。 ②還元焰 ③浅黄2.5Y7/4	やや小さな底部から、下位に膨らみをもつ体部にいたる。口縁部は外反。 底部は切り離し後、周縁部回転篋削り。 内外面とも、回転ナデ調整。

5区8号住居出土遺物観察表《土器》第122・123図・PL44

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1422	土師器 杯形土器	口縁～底部1/2残存 口(13.0cm)高 底(3.1cm)	3.1cm	南東部 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙5YR7/4	わずかな丸底から、浅い体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1423	須恵器 杯形土器	口縁部1/2欠損 口12.9cm高 底7.4cm	4.0cm	中央部 床面上27.5cm	①微細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③灰オリーブ5Y6/2	わずかな膨らみをもって外反する体部。 右回転クロコ整形。底部回転糸切り離し。 内外面 回転ナデ調整。
1424	須恵器 蓋形土器	天井～口縁部1/2破片 口(14.2cm)		北部 床面上21.5cm	①細砂を含む。 ②還元焰。 ③灰5Y6/1	やや厚く水平な天井部から、湾曲する口縁部に至る。返りはない。 外面 天井部左回転篋削り。口縁部回転ナデ調整。 内面 回転ナデ調整。
1420	土師器 甕形土器	口縁～体部下位1/2残存 口21.0cm		東部 床面直上	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	上位にやや膨らみをもつ体部から、緩やかに外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋削り。中位～下位縦方向篋削り 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋削り。
1419	土師器 甕形土器	口縁～体部中位1/2残存 口(21.6cm)		竈前 床面直上	①微細砂と少量の小礫を含む ②酸化焰。 ③にぶい赤褐5YR5/3	上位に膨らみをもつ体部から、緩やかに外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横・斜方向篋削り、下位縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋削り。
1418	土師器 甕形土器	口縁～体部下位残存 口(21.4cm)		竈前 床面直上	①微細砂・細砂を多量を含む ②酸化焰。 ③明赤褐2.5YR5/8	上位に膨らみをもつ体部から、緩やかに外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋削り、下半縦方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋削り。

6区1号住居出土遺物観察表《土器》第125図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1362	須恵器 蓋形土器	1/10破片 口(12.0cm)高 底(2.7cm)	2.7cm	中央東寄り 床面上1.5cm	①ごく微細な黒色鉱物粒を多く含む。 ②還元焰。 ③灰7.5Y6/1	平らな天井部から、顎状の突起をもち口縁部は垂直に長く垂れる。 内外面 回転ナデ調整。

6区4号住居出土遺物観察表《土器》第126図・PL45

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1364	土師器 杯形土器	口縁～底部1/2残存 口11.5cm高 底8.8cm	3.1cm	竈前 床面上9cm	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明褐7.5YR5/6	平底の底部から、やや膨らみをもって外反する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。口縁部に煤付着。
1366	須恵器 高台付 碗形土器	口縁～体部1/2・高台部 欠損 口15.3cm		南東隅 床面上2.5cm	①微細砂・橙色鉱物粒を含む ②還元焰。 ③オリーブ黒5Y3/2	やや小さな底部から、下位にわずかな膨らみをもつ体部に至る。 右回転クロコ整形。回転糸切り離し。付高台。 内外面 回転ナデ調整。
1369	須恵器 高台付 碗形土器	底部～高台部残存 底9.8cm		北東隅 床面上4cm	①微細砂と少量の砂粒を含む ②還元焰。 ③灰白5Y7/1	端部がやや肥厚する、断面台形の高台部。 外面 底部切り離し後、ナデ。付高台。 内面 回転ナデ調整。
1365	須恵器 杯形土器	ほぼ完形 口15.1cm		貯蔵穴内 底面上19cm	①小礫・白色鉱物を含む。 ②還元焰。 ③灰黄2.5Y7/2	やや小さな底部から、下位にわずかな膨らみをもつ体部に至る。 右回転クロコ整形。底部回転糸切り離し。 内外面 回転ナデ。
1368	須恵器 杯形土器	口縁1/2～底部残存 口(12.0cm)高 底6.3cm	3.5cm	東壁際 床面上6cm	①砂粒・小礫を多く含む。 ②還元焰。 ③灰白5Y7/1	平底から、直線的に外反する体部に至る。 左回転クロコ整形。底部回転糸切り離し。 内外面とも回転ナデ調整。

遺物観察表

(6区4号住居)

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1367	須恵器 杯形土器	口縁～底部残存	口 (14.4cm) 高 3.5cm 底 6.4cm	南壁際 床面上9cm	①細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③灰黄2.5Y6/2	平底から、直線的に大きく外反する浅い体部に至る。 外面 口縁部～体部回転ナデ調整。底部左回転糸切り離し。 内面 口縁部～底部回転ナデ調整。
1370	須恵器 蓋形土器	1/2破片	口 (14.0cm)	貯蔵穴内 底面上10cm	①微細砂を含む。 ②還元焰。 ③灰N4/	水平な天井部・直線的な体部からやや外傾する口縁部に至る。 内外面 回転ナデ調整。
1363	土師器 甕形土器	口縁～体部上位破片	口 (24.0cm)	竈内 竈使用面直上	①微細砂と少量の小礫を含む ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	胴部上位に最大径をもち、口縁部が短くゆるやかに外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位篋ナデ。
1371	須恵器 碗形土器	口縁～底部1/2残存	口 (17.0cm)	埋没土	①砂粒・微細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③にぶい黄橙10YR6/3	底径が大きく、体部下位にわずかな膨らみをもつ。 右回転クロコ整形。底部回転糸切り離し。付高台。 内外面 回転ナデ調整。

6区5号住居出土遺物観察表《土器》第127図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1372	土師器 杯形土器	口縁～底部1/2残存	口 (12.0cm) 高 3.1cm	中央部 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③明褐7.5YR5/6	平底の底部から、やや膨らみをもって外反する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部指押え。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧なナデ。

6区6号住居出土遺物観察表《土器》第128図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1110	土師器 杯形土器	口縁～底部1/2残存	口 (13.0cm) 高 3.0cm	埋没土	①微細砂を少量含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	平底気味の底部から、湾曲気味の体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1109	土師器 甕形土器	口縁部破損	口 (20.0cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/8	胴部上位に最大径をもち、ゆるやかに外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。

6区7号住居出土遺物観察表《土器》第129図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1373	土師器 杯形土器	口縁～底部1/2残存	口 (12.0cm)	中央南寄り 床面直上	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	わずかな丸底から、浅い体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1374	須恵器 蓋形土器	1/10破片	口 (13.0cm)	中央部 床面直上	①微細砂を含む。 ②還元焰。 ③灰白N4/	水平な天井部から緩やかに湾曲する体部を経て口縁部が垂直に折れる。 内外面 回転ナデ調整。

6区11号住居出土遺物観察表《土器》第130図・PL47

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1113	土師器 杯形土器	口縁～底部1/2残存	口 (12.4cm) 高 3.7cm	中央南寄り 床面上8.5cm	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/4	湾曲する底部から、短く内傾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1114	土師器 杯形土器	口縁～底部1/2残存	口 18.0cm 高 6.3cm	竈前 床面上9cm	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	深く湾曲する底部から、短く直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部～底部篋削りと考えられるが、単位・方向は不明である。内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧なナデ。
1111	土師器 甕形土器	口縁～体部上位1/2残存	口 (22.6cm)	中央北寄り 床面上10cm	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR7/6	中位に膨らみのある胴部から、短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。頸部ナデ。体部篋削りとみられるが、方向・単位は不明。内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデとみられるが、単位・方向は不明。
1112	土師器 甕形土器	口縁～体部上位1/2残存	口 (24.0cm)	中央北寄り 床面上10cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙2.5YR6/6	中位に膨らみがわずかにある胴部から、短く外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。輪積み痕残る。体部上位斜方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。

6区13号住居出土遺物観察表《土器》第132図・PL47

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1116	土師器 杯形土器	ほぼ完形	口 13.2cm 高 3.5cm	南東壁際 床面上1.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	湾曲する底部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部篋削り、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1115	ロクロ 土師器 碗形土器	口縁～底部破片	口 (18.0cm) 高 8.2cm	南東壁際 床面上3.0cm	①微細砂を少量含む。 ②酸化焰。③(内)黒 (外)にぶい橙5YR7/3	平底から下位に膨らみをもつ深い体部に至る。口縁部に1条沈線が巡る 外面 口縁部横ナデ。体部部分的に磨きがか取られる。底部篋磨き。 内面 口縁部～底部横方向磨き。
1118	須恵器 杯形土器	口縁～底部破片	口 (13.4cm)	竈右袖前 床面上7cm	①黒色鉱物粒を含む。 ②還元焰。 ③灰黄2.5Y7/2	やや小さな平底から、直線的に外反する。 内外面 回転ナデ調整。摩耗・剝離が著しく、底部切り離し技法等不明

2. 歴史時代前半期の出土遺物

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1117	土師器 杯形土器	口縁～底部破片 口 (12.0cm)		竈埋没土	①細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③にぶい褐7.5YR5/4	湾曲する底部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り、周縁ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。

7区3号住居出土遺物観察表《土器》第133図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1376	須恵器 高台付 椀形土器	底部のみ残存 底 7.3cm		南西隅 床面上7.5cm	①細砂・小礫を多量に含む。 ②還元焰。 ③にぶい黄橙10YR6/4	やや開いた断面三角形の低い高台。 右回転クロコ整形。回転糸切り離し。付高台。 内面 回転ナデ調整。
1377	土師器 甕形土器	口縁～体部中位破片 口 (19.8cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	口縁部が一旦直立して上位で外反する。最大径は胴部上位。 外面 口縁部横ナデ。体部上半横・斜方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上半横方向寛ナデ。

7区4号住居出土遺物観察表《土器》第134図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1379	須恵器 杯形土器	口縁部破片 口 (14.2cm)		南部 床面上11cm	①細砂・小礫を含む。 ②還元焰。 ③灰10Y5/1	下位に膨らみをもって外反する体部。 内外面 回転ナデ調整。
1378	土師器 甕形土器	口縁部破片 口 (18.0cm)		中央部 床面直上	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	緩やかに外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向寛ナデ。

7区6号住居出土遺物観察表《土器》第136図・PL48

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1123	土師器 杯形土器	口縁～底部残存 口 (13.6cm) 高 3.6cm		西壁寄り 床面上1.5cm	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り、周縁ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1124	土師器 杯形土器	口縁～底部破片 口 (17.2cm)		北壁際 床面上1.5cm	①細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/4	体部と口縁部を画す稜線をもつ。大形。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1125	土師器 杯形土器	口縁～底部残存 口 (17.0cm) 高 5.1cm		南壁際 床面上3cm	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り、周縁ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1122	土師器 杯形土器	口縁～底部残存 口 (13.8cm)		竈前 床面上9.5cm	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	尖り気味の丸底から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向指ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧なナデ。
1131	須恵器 杯形土器	口縁部欠損 口 (14.0cm) 高 4.6cm 底 8.9cm		南壁際 床面上14.5cm	①細粒を多く含む。 ②還元焰。 ③灰7.5Y6/1	平底から、直線的に外反する体部。体部下位に寛削りを施す。 外面 口縁部～体部上位回転ナデ。体部下位～底部回転寛削り。 内面 回転ナデ調整。
1126	土師器 杯形土器	口縁～底部残存 口 (12.0cm) 高 3.1cm		南壁 床面上26.5cm	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	わずかな丸底から浅い体部に至り、口縁部は直立する。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1132	須恵器 高台付 椀形土器	底部破片 底 (12.0cm)		南壁 床面上40.5cm	①微細黒色鉱物粒を含む。 ②還元焰。 ③灰N6/	下位にわずかな丸みをもつ体部。断面三角形の高台を付す。 内外面 回転ナデ調整。
1119	土師器 甕形土器	口縁～体部上位残存 口 20.6cm		竈前 床面上2.5cm	①細砂・微細砂を多量に含む ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	膨らみのない胴部から、緩やかに外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。一部指痕残る。体部上位縦方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛ナデ。
1120	土師器 甕形土器	口縁部破片 口 (13.8cm)		南東壁際 床面上22.5cm	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/4	小さく外反する口縁部破片。 外面 口縁部横ナデ。 内面 口縁部横ナデ。
1127	土師器 杯形土器	口縁～底部破片 口 (14.0cm)		埋没土	①細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	わずかな丸底から浅い体部に至り、口縁部は直立する。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。底部ナデ、布目圧痕残る。
1128	土師器 杯形土器	口縁～底部破片 口 (18.8cm)		埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/4	体部と口縁部を画す稜線をもつ。大形。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1129	土師器 杯形土器	口縁～底部残存 口 (16.0cm)		埋没土	①細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/8	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1133	須恵器 杯形土器	口縁～底部残存 口 (14.8cm) 高 4.0cm		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③灰N4/	平底の底部から、やや内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部回転ナデ調整。底部不明。 内面 口縁部横ナデ。体部・底部丁寧なナデ。
1134	須恵器 杯形土器	口縁～底部残存 口 (14.2cm) 高 3.9cm 底 (8.6cm)		埋没土	①細砂を少量含む。 ②還元焰。 ③灰7.5Y6/1	平底の底部から、下部に膨らみをもって外反する体部に至る。 外面 口縁部～体部回転ナデ。体部下位～底部回転寛削り。 内面 回転ナデ。

遺物観察表

(7区6号住居)

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1135	須恵器 杯形土器	底部のみ残存 底 8.0cm		埋没土	①直径1~5mmの砂粒を多く含む。 ②還元焰。 ③浅黄2.5Y6/3	平底の厚い底部から、立ち上がり部分に篋削りを施す体部に至る。 外面 底部右回転篋削り。 内面 底部回転ナデ。
1136	須恵器 高台付 杯形土器	底部残存 底 (11.0cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焰。 ③灰白N7/	平底の底部から、下位に丸みのある体部に至る。断面台形の高台を付す 外面 回転ナデ、体部下位の一部に回転篋削り痕が残る。底部回転篋削り後、周縁のみ回転篋削り。 内面 回転ナデ。
1137	須恵器 蓋形土器	口縁部破片 口 (11.4cm)		埋没土	①微細黒色鉱物粒を含む。 ②還元焰。 ③オリーブ灰2.5GY6/1	水平な天井部から、突帯状の稜をもって屈曲し、長く垂直に垂れる口縁部に至る。 内外面 丁寧なナデ調整。
1138	須恵器 蓋形土器	天井部破片 口 (9.4cm)		埋没土	①微細砂・微細黒色鉱物粒を含む。 ②還元焰。 ③灰5Y6/1	水平な天井部から、稜をもって垂直に垂れる短い口縁部に至る。 内外面とも回転ナデ。
1121	土師器 台付 壘形土器	台部残存 底 (9.4cm)		埋没土	①細砂を多量を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/8	中に稜をもってハの字状に開く台部。 外面 台部上半縦方向篋ナデ、下半横ナデ。 内面 底部指ナデ。台部上半放射状指ナデ、下半横ナデ。

7区6号住居出土遺物観察表《石器》第136図・PL48

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石 材 重さ (g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S119	砥石・磨石	11.2・7.5 4.1	粗粒安山岩 710	埋没土	断面長方形の厚い板状の石。表面には敲打痕、裏面には磨り面が残る。

7区7号住居出土遺物観察表《土器》第137図・PL49

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1381	土師器 杯形土器	口縁~底部残存 口 (12.8cm) 高 3.1cm		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR7/6	平底からわずかに内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ、下半指ナデ。底部篋削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1380	土師器 台付 壘形土器	台部残存 底 (9.5cm)		埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明褐7.5YR5/8	ハの字に開く台部破片。 外面 台部横ナデ。 内面 台部横ナデ。

7区7号住居出土遺物観察表《石器》第137図・PL49

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石 材 重さ (g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S140	砥石	7.6・2.4 2.6	砥沢石 47.6	埋没土	断面台形の砥石の半欠品。小口を除く、各表面が使用されている。

8区4号住居出土遺物観察表《土器》第139図・PL49

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1383	土師器 杯形土器	口縁部破片 口 (15.4cm)		竈内 床面直上	①微細砂を少量含む。 ②酸化焰。 ③明褐7.5YR5/6	湾曲する底部から、直立する短い口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部篋削り後、ナデ調整。 内面 口縁部横ナデ。体部丁寧なナデ。
1382	土師器 壘形土器	口縁~体部上位残存 口 (21.4cm)		中央部西寄り 床面上10cm	①微細砂を多量を含む。 ②酸化焰。 ③赤褐5YR4/6	膨らみの少ない胴部から、緩やかな口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋ナデ。
1384	土師器 杯形土器	口縁~底部残存 口 (12.8cm) 高 3.5cm		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③におい橙5YR6/4	平底気味の底部から、湾曲気味の体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部篋削り。摩擦著しく単位・方向不明。 内面 口縁部横ナデ。体部~底部丁寧なナデ。

8区5号住居出土遺物観察表《土器》第141図・PL49

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1386	土師器 台付 壘形土器	口縁~体部残存 口 (12.8cm)		東壁寄り 床面上15cm	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③におい橙7.5YR5/4	口縁部が一旦直立して上方で外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向篋削り、下半縦方向篋削り。台部との接合部横ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。
1387	土師器 杯形土器	口縁~底部破片 口 (11.8cm) 高 2.9cm		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③におい橙7.5YR7/4	平底からわずかに内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部ナデ。底部篋削り後、周縁指ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部~底部丁寧なナデ。
1388	須恵器 杯形土器	口縁~底部残存 口 (12.2cm) 高 3.3cm 底 8.0cm		埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焰。 ③灰白7.5Y8/1	あげ底の底部から、体部が直線的に外反する。 右回転クロク整形。底部回転糸切り離し。周縁の一部にナデ。 内外面 回転ナデ調整。
1390	灰釉陶器 皿形土器	口縁部破片 口 (11.0cm)		埋没土	①緻密な胎土。 ②還元焰。 ③灰白5Y8/1	小さく外反する口縁部破片。 内外面 回転ナデ調整。 内面 施釉。

2. 歴史時代前半期の出土遺物

8区6号住居出土遺物観察表《土器》第142図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1391	土師器 杯形土器	口縁～底部破片 口(12.0cm)高	2.9cm	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/8	平底からわずかに内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧なナデ。

8区13号住居出土遺物観察表《土器》第143図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1397	土師器 杯形土器	口縁 $\frac{1}{2}$ ～底部残存 口12.3cm高	2.6cm 底9.6cm	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③明褐7.5YR5/6	平底からわずかに内湾する体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧なナデ。

9区3号住居出土遺物観察表《土器》第144図・PL51

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1401	土師器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口(12.4cm)		南部 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	平底気味の底部から、湾曲気味の体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧なナデ。
1402	土師器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口(12.0cm)高	2.9cm	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	平底気味の底部から、湾曲気味の体部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位指ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧なナデ。
1404	須恵器 杯形土器	口縁～底部破片 口(13.2cm)高	3.8cm 底(8.4cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②還元焰。 ③灰N4/	やや上げ底の底部から、緩やかに外反する体部に至る。 内外面 回転ナデ調整。
1403	須恵器 高台付 碗形土器	体部下位～高台部残存 底	8.2cm	埋没土	①細砂・微細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③灰5Y6/1	内湾する体部で、外反する断面三角形の高台を付す。 外面 底部右回転クロ糸切り離し後、付高台。体部回転ナデ調整。 内面 回転ナデ調整。

10区1号住居出土遺物観察表《土器》第145図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1405	土師器 杯形土器	口縁～底部破片 口(12.0cm)		埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐5YR5/6	内湾する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧なナデ。
1406	土師器 杯形土器	口縁～体部破片 口(11.8cm)		埋没土	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい橙7.5YR6/4	内湾する体部から、外反気味の口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部指ナデ。下半寛削り。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部～底部丁寧なナデ。

10区2号住居出土遺物観察表《土器》第146図・PL51

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1142	土師器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 破片 口(14.0cm)		南東部 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 横ナデ。底部寛削り。 内面 横ナデ。底部ナデ調整。
1144	須恵器 蓋形土器	口縁部・摘部一部欠損 口12.6cm高	2.3cm 摘3.5cm	南西部 床面上4cm	①微細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③灰5Y4/1	水平な天井部から緩やかに湾曲して口縁部に至り、つまみだした短い返りが付く。 外面 摘み部ナデ。口縁部回転ナデ。内面 天井部～口縁部回転ナデ
1139	土師器 甕形土器	口縁～体部上位 $\frac{1}{2}$ 残存 口(21.4cm)		竈内 床面上3.5cm	①細砂・小礫を含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	中位に膨らみをもつ胴部から、外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向寛削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向寛削り。
1143	土師器 盤形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口(15.8cm)		埋没土	①細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③明褐7.5YR5/8	体部の弱い稜線から、外湾する口縁部に至る。 外面 口縁横ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1145	須恵器 蓋形土器	口縁部破片 口(19.8cm)		埋没土	①微細黒色鉱物粒を少量含む ②還元焰。 ③灰白5Y7/1	水平な天井部から緩やかに湾曲して口縁部に至り、口縁部寄りに返りが付く。 外面 天井部中位手持ち寛ナデ。口縁部横ナデ。内面 回転ナデ調整

10区3号住居出土遺物観察表《土器》第149図・PL52

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1151	須恵器 杯形土器	底部 $\frac{1}{2}$ 残存 底(7.5cm)		西壁 床面上2cm	①微細黒色鉱物粒を含む。 ②還元焰。 ③灰白N7/	小さな平底から、立ち上がり部に巾の広いナデを施す体部に至る。 外面 体部回転ナデ調整。底部切り離し後、回転寛削り。 内面 底部回転ナデ調整。
1147	土師器 杯形土器	口縁部 $\frac{1}{2}$ 欠損 口12.8cm高	3.6cm	中央部北寄り 床面上6cm	①微細砂を含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り、周縁ナデ。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。
1148	土師器 杯形土器	口縁～底部破片 口(13.0cm)		中央部南寄り 床面上14cm	①微細砂・小礫を少量含む。 ②酸化焰。 ③橙5YR6/6	湾曲する底部から、直立する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。底部寛削り。 内面 口縁部横ナデ。底部丁寧なナデ。

遺物観察表

(10区3号住居)

番号	器種	残法 存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形の特徴
1150	須恵器 高台付 椀形土器	口縁～高台部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (17.7cm) 高 8.7cm 底 12.0cm	西壁 床面上2cm	①微細砂を少量含む。 ②還元焰。 ③灰7.5Y6/1	下位にわずかな丸みをもつ体部から、直線的に外反する口縁部に至る。断面台形の高く開く高台を付す。外面 口縁部～体部中位回転ナデ。体部下位回転篋削り。底部回転篋切り。高台部ナデ。 内面 回転ナデ調整。
1149	土師器 盤形土器	口縁部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (14.6cm)	埋没土	①細砂・小礫を含む。 ②酸化焰。 ③橙2.5YR6/6	体部の稜線から、外湾する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部斜方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部丁寧なナデ。
1152	須恵器 杯形土器	口縁～底部 $\frac{1}{2}$ 残存 口 (14.7cm) 高 3.3cm 底 8.4cm	埋没土	①微細砂・細砂を多く含む。 ②還元焰。 ③灰白5Y7/1	平底から、直線的に外反する体部に至る。立ち上がり部に篋削りを施す 外面 口縁部～体部回転ナデ。底部右回転篋削り。 内面 回転ナデ。
1146	土師器 甕形土器	口縁部破片 口 (20.4cm)	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焰。 ③橙7.5YR6/6	膨らみのない体部上位から、緩やかに外反する口縁部に至る。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向篋削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向篋ナデ。

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発掘調査報告第203集

荒砥上ノ坊遺跡Ⅱ
歴史時代前半期の調査
《遺物観察表編》

昭和57年度県営圃場整備事業荒砥北部
地区に係る埋蔵文化財発掘調査報告書

平成8年3月20日 印刷
平成8年3月25日 発行

編集・発行／群馬県教育委員会
〒371 前橋市大手町1丁目1番1号
電話 (0272) 23-1111(代表)

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
〒377 勢多郡北橋村大字下箱田784番地の2
電話 (0279) 52-2511(代表)

印刷／朝日印刷工業株式会社